

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2009

実施報告書



CoFesta

2009

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会

CoFesta2009 参加イベント一覧

オフィシャルイベント(18 イベント)	開催期間	開催場所
東京ゲームショウ 2009	9/24 (木)～27 (日)	幕張メッセ
日本ゲーム大賞 2009	9/24 (木)～27 (日)	幕張メッセ
KYOTO Cross Media Experience 2009 (KYOTO CMEX 2009)	9/26 (土)～10/4 (日)	京都駅・祇園エリア、烏丸御池エリア、京都太秦エリア
CEATEC JAPAN 2009	10/6 (火)～10 (土)	幕張メッセ
東京コンテンツマーケット 2009 (TCM2009)	10/14 (水)～16 (金)	東京ビッグサイト 東1ホール
ライセンシング・アジア 2009	10/14 (水)～16 (金)	東京ビッグサイト 東1ホール
ジャパン・アニメコラボ・マーケット 2009 (JAM 2009)	10/15 (木)～18 (日)	秋葉原UDX
秋葉原エンタまつり 2009	10/17 (土)～25 (日)	秋葉原UDX、秋葉原地区販売店 他
第22回 東京国際映画祭	10/17 (土)～25 (日)	六本木ヒルズ 他
TIFFCOM 2009 Marketplace for Film & TV in Asia	10/20 (火)～22 (木)	六本木ヒルズ森タワー 六本木アカデミーヒルズ 40F、49F
第6回 文化庁映画週間 - Here & There	10/17 (土)～23 (金)	六本木ヒルズ、シネマート六本木
ジャパン・ロケーション・マーケット 2009	10/20 (火)～22 (木)	六本木ヒルズ
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009	10/19 (月)～22 (木)	明治記念館、千代田放送会館、六本木ヒルズ
第26回 ATP 賞テレビグランプリ 2009	10/22 (木)	六本木ヒルズ 六本木ハリウッドホール
第6回 東京アジア・ミュージックマーケット	10/19 (月)～23 (金)	品川プリンスホテル、ステラボール 他
第9回「東京発 日本ファッション・ウィーク」	10/19 (月)～25 (日)	東京ミッドタウン 他
デジタルコンテンツ EXPO 2009	10/22 (木)～25 (日)	日本科学未来館、東京国際交流館、ユナイテッド・シネマ豊洲 他
第36回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	10/22 (木)～28 (水)	NHK放送センター
パートナーイベント(10 イベント ※2009年12月現在)	開催期間	開催場所
第31回びあフィルムフェスティバル	7/17 (金)～31 (金)	東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール 京都、福岡、仙台、名古屋、神戸で順次開催
テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2009 (京都開催)	10/9 (金)	京都テルサ
クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2009 (CrIS 関西)	9/5 (土)～12/4 (金)	関西各地域(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)
カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)	9/19 (土)～10/16 (金)	下北沢トリウッド、カナダ大使館、東京藝術大学馬車道校舎、京都国際マンガミュージアム
山形国際ドキュメンタリー映画祭 2009	10/8 (木)～15 (木)	山形市中央公民館、山形市民会館、山形フォーラム、ソラリス
第1回むつデジタル映像フェスティバル	10/10 (土)～11 (日)	青森県むつ市ウェルネスパーク・克雪ドーム、むつ来さまい館
第4回札幌国際短映画祭(SAPPORO ショートフェスト2009)	10/14 (水)～18 (日)	メイン上映会場：札幌東宝プラザ 特別上映会場：シアターキノ
第8回横浜学生映画祭	10/23 (金)～25 (日)	野毛シャॅーレ(横浜市中区)
全映協フォーラム 2009 in 千葉	11/19 (木)	幕張メッセ国際会議場
The six!	12/10 (木)～13 (日)	The Artcomplex Center of Tokyo
オリジナルイベント(6 イベント)	開催期間	開催場所
CoFesta2009 グランドセレモニー	9/29 (火)	帝国ホテル
CoFesta 私塾 2009 ～くわでてる力～	9/26(土)・10/3(土)・10/10(土)・ 10/17(土)・10/24(土)	渋谷 ロフトワーク『Ground』
アジア・コンテンツ・ビジネスサミット 2009	10/15 (木)～16 (金)	ウェスティンホテル東京
CoFestaまつり in 上野&秋葉原	10/24 (土)	上野公園、ベルサール秋葉原 他
浅草藤村忠寿大集会 ～おもしろいテレビのための在り方懇～	10/27 (火)	浅草公会堂
劇的3時間SHOW ―10人のコンテンツプロフェッショナルが語る―	10/5 (月)～13 (火)・10/26 (月)	スパイラルホール、アサヒ・アートスクエア

目次

【はじめに】

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2009 実施報告書発行にあたり	2
JAPAN 国際コンテンツフェスティバルとは?	3

【開催概要】

イベントマップ	4
---------------	---

【運営体制】

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会 委員一覧	6
運営組織図／ JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会／ イベント広報連絡会	7

【CoFesta の「顔」】

CoFesta メインキャラクター／ CoFesta2009 イメージキャラクター	8
トータルディレクション／公式テーマ曲	9

【百人委員会】

百人委員会とは 百人委員会結団式	10
百人委員会 委員一覧	11
百人委員会 委員会社ロゴマーク一覧	12

【オフィシャルイベント】

CEATEC JAPAN 2009	15
東京ゲームショウ 2009	16
日本ゲーム大賞 2009	17
KYOTO Cross Media Experience 2009	18
東京コンテンツマーケット 2009	20
ライセンス・アジア 2009	21
ジャパン・アニメコラボ・マーケット 2009	22
秋葉原エンタまつり 2009	23
第 22 回 東京国際映画祭	24
TIFFCOM 2009 Marketplace for Film & TV in Asia	25
第 6 回 文化庁映画週間 - Here & There	26
ジャパン・ロケーション・マーケット 2009	27
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009	28
第 26 回 ATP 賞 テレビグランプリ 2009	29
第 6 回 東京アジア・ミュージックマーケット	30
第 9 回「東京発 日本ファッション・ウィーク」	31
デジタルコンテンツ EXPO 2009	32
第 36 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	33

【パートナーイベント】

第 31 回 ぴあフィルムフェスティバル	35
テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2009 (京都開催)	35
クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2009	36
カナダ・アニメーション・フェスティバル	40
山形国際ドキュメンタリー映画祭 2009	40
第 1 回 むつデジタル映像フェスティバル	41
第 4 回 札幌国際短編映画祭	41
第 8 回 横濱学生映画祭	42
全映協フォーラム 2009 in 千葉	42
The six!	43

【オリジナルイベント】

CoFesta2009 グランドセレモニー	45
CoFesta 私塾 2009 ～くわだてる力～	46
浅草藤村忠寿大集会	46
劇的 3 時間 SHOW	47
アジア・コンテンツ・ビジネスサミット 2009	48
CoFesta まつり in 上野&秋葉原	49

【広報】

広報年間スケジュール	50
制作物	51
JAPAN EXPO	52
イベント／ブース出展	54
海外広報	55
東京メトロ銀座線車両広告／広告出稿	56
メディア露出状況 (国内)	57
メディア露出状況 (海外)	58

【一体感の創出】

分野横断的企画	59
公式行事等への CoFesta 正副委員長の出席	62

・氏名は敬称略を基本とします。
・株式会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、
それぞれ(株)、(社)、(財)、(独)と略することを基本とします。

はじめに



JAPAN国際コンテンツフェスティバル2009 実施報告書発行にあたり

JAPAN国際コンテンツフェスティバル2009
実行委員長 大谷 信義

「JAPAN国際コンテンツフェスティバル(愛称: コ・フェスタ)2009」の開催に際しましては、皆様方から多大なご支援、ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。9月24日に始まりましたコ・フェスタ2009のオフィシャルイベントは10月28日をもって、無事終了いたしましたことを報告させていただきます。

コ・フェスタは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業に関わるイベントが連携して、世界に向けてジャパンコンテンツを発信していくフェスティバルとして2007年の秋に初めて開催されました。3回目を迎えた今年は、ファッション、デザインといったコンテンツと親和性の高い産業に関するイベントも加わり、18のオフィシャルイベント、10のパートナーイベント、実行委員会が主催する6のオリジナルイベントから成る、多種多様なコンテンツフェスティバルとなり、来場者数も100万人を突破し過去最高となりました。

いろいろな場面で、建設的なご提案、率直なご意見、温かい激励のお言葉をお寄せくださいました関係各位に心より感謝申し上げます。

コ・フェスタ2009の実施報告書がここにまとまりましたので、ご一読いただけると幸いです。今年の成果を踏まえ、この3年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業界としての一体感を一段と高めるべく、次の諸準備を進めて参りたいと考えております。

コ・フェスタ2009にご参加くださいましたオフィシャルイベントとパートナーイベントの主催者・後援者、及び関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷 信義

はじめに

JAPAN 国際コンテンツフェスティバルとは？

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル（愛称 CoFesta コ・フェスタ）とは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントが連携して開催する世界最大規模の統合的コンテンツフェスティバルです。

名 称： JAPAN 国際コンテンツフェスティバル（愛称 CoFesta コ・フェスタ）2009
主 催： JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会
会 期： 2009 年 9 月 24 日（木）～10 月 28 日（水）
開催場所： 日本各地
2009 年総来場者数： 約 110 万人

【CoFesta 開催の目的】

- 日本の各分野におけるコンテンツを相互に連携させて世界に向けて発信し、世界中のコンテンツ関係者が一度に日本の数多くのコンテンツに触れる機会を提供する。
- アジアを中心にした世界のコンテンツやコンテンツ関係者の新たな交流の場とし、国際共同製作や国際ビジネスの交流に結び付ける。

JAPAN 国際コンテンツフェスティバルは
3 年目を迎えます。
1 年目「あたらしい」、2 年目「おもしろい」、
3 年目「すばらしい」という
日本のコンテンツ産業の振興に
寄与する舞台を創ってきました。
これからは、世界をめざすニューカルチャー、
ニュービジネスを志します。

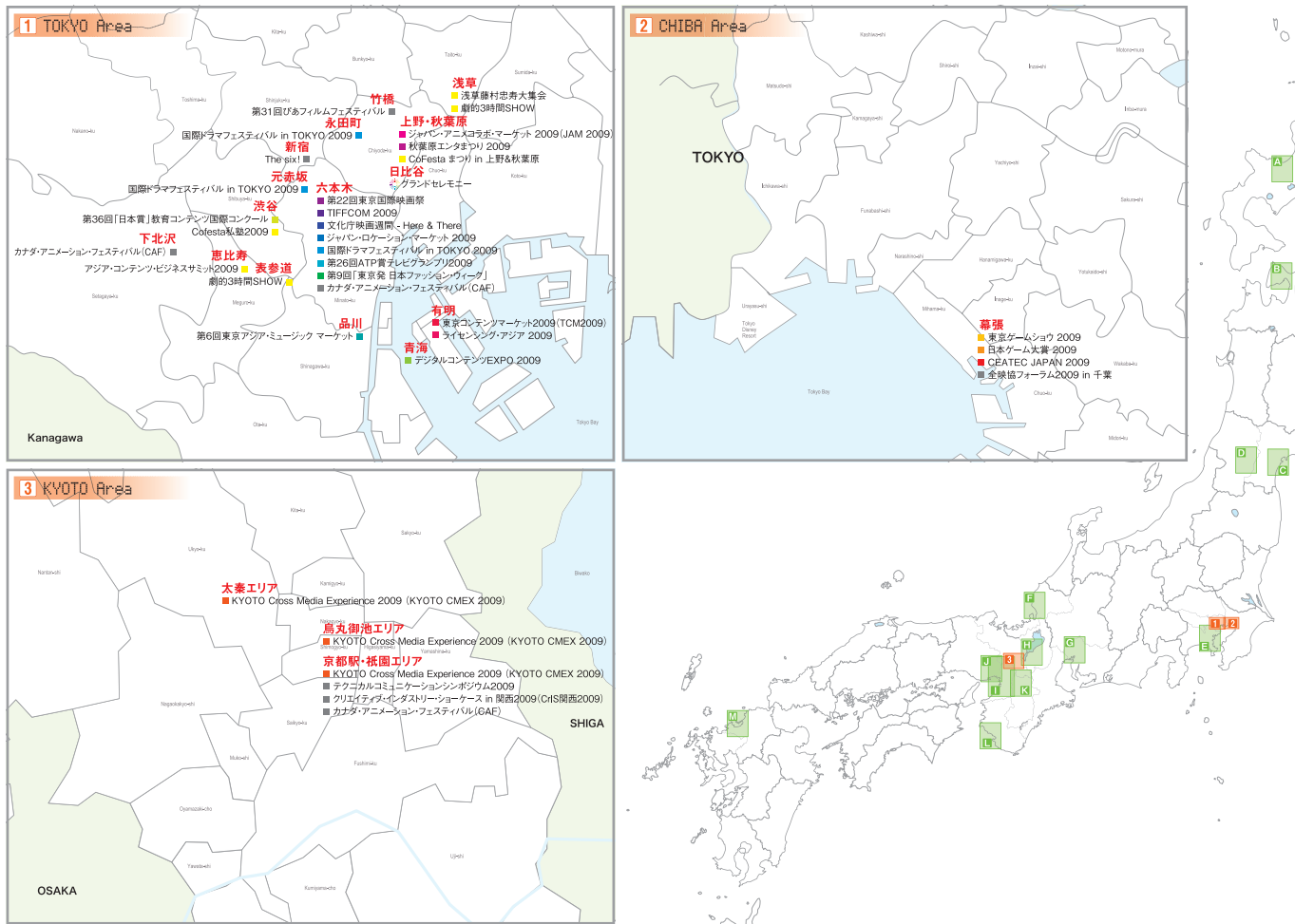
エグゼクティブ・プロデューサー 重 延 浩



- 2009 年の基本コンセプト
新グローバリズムに向かうコンテンツフェスティバルである。日本のコンテンツの魅力がどのように世界に認められるか。その挑戦をはじめる。
- ニューグローバリズム
日本の魅力を、世界が予感し始めている。その風を受けて、ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画が連携して、独創的な魅力を披露していく。7 月にパリで開催された「JAPAN EXPO」にも参加し、今年からファッションを迎え、世界を新しい時代感覚でリードするニューグローバリズムを推進する。
- 伝統と現代
日本の伝統と現在のふしぎなミックス。それが魅力的なコンテンツの創造につながる。
今年は東京メトロ銀座線上のラインに沿って、浅草から渋谷まで多彩なイベントを開催する



イベントマップ



Official Events

- 東京ゲームショウ 2009
- 日本ゲーム大賞 2009
- KYOTO Cross Media Experience 2009 (KYOTO CMEX 2009)
- CEATEC JAPAN 2009
- 東京コンテンツマーケット 2009 (TCM2009)
- ライセンス・アジア 2009
- ジャパン・アニメコラボ・マーケット 2009 (JAM2009)
- 秋葉原エンタまつり 2009
- 第22回東京国際映画祭
- TIFFCOM 2009 Marketplace for Film & TV in Asia
- 第6回文化庁映画週間-Here & There
- ジャパン・ロケーション・マーケット 2009
- 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009
- 第26回A T P 賞 テレビグランプリ2009
- 第6回東京アジア・ミュージック マーケット
- 第9回「東京発 日本ファッション・ウィーク」
- デジタルコンテンツEXPO 2009
- 第36回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

[illegible]

[illegible]

第31回びあフィルムフェスティバル	7月17日金~31日金
テクニカルコミュニケーションシンポジウム2009(京都開催)	10月9日金
クリエイティブ・インダストリーショーケース in 関西2009 (CrIS関西)	9月5日土~12月4日金
カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)	9月19日土~10月16日金
山形国際ドキュメンタリー映画祭2009	10月8日木~15日木
第1回むつデジタル映像フェスティバル	10月10日土・11日日
第4回札幌国際短編映画祭	10月14日水~18日土
第8回横浜学生映画祭	10月23日金~25日土
全映協フォーラム2009in千葉	11月19日木
The six!	12月10日木~13日土

CoFesta2009 グランドセレモニー	9月29日 火
CoFesta私塾2009	9月26日 土 ～10月24日 土
アジア・コンテンツ・ビジネスサミット	10月15日 木 ・16日 金
CoFestaまつり in 上野&秋葉原	10月24日 土
浅草藤村忠寿大集会	10月27日 火
劇の3時間SHOW	10月5日 月 ～13日 火 ・26日 月

運営体制

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会 委員一覧

(2009年9月1日現在)

【委員長】

大谷 信義 社団法人 日本映画製作者連盟 会長 (松竹株式会社 代表取締役会長)

【副委員長】

依田 巽 第22回東京国際映画祭 チェアマン
社団法人 日本経済団体連合会 産業問題委員会 エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長

迫本 淳一 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長 (松竹株式会社 代表取締役社長)

松谷 孝征 一般社団法人 日本動画協会 名誉理事 (株式会社 手塚プロダクション 代表取締役社長)

【副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサー】

重延 浩 株式会社 テレビマンユニオン 代表取締役会長・CEO

【監事】

古森 重隆 社団法人 日本映画テレビ技術協会 会長 (富士フィルム株式会社 代表取締役社長・CEO)

工藤 英博 社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 顧問 (映画専門大学院大学 学長)

【委員】

石坂 敬一 社団法人 日本レコード協会 会長 (ユニバーサル ミュージック合同会社 最高経営責任者兼会長)

板谷 博道 独立行政法人 国際観光振興機構 理事

井上伸一郎 秋葉原エンタまつり 2009 ジェネラル・プロデューサー (株式会社 角川書店 代表取締役社長)

植村伴次郎 社団法人 衛星放送協会 会長 (株式会社 東北新社 代表取締役会長)

太田 伸之 株式会社 イッセイ ミヤケ 代表取締役社長

岡田 裕介 東映株式会社 代表取締役社長

角川 歴彦 株式会社 角川グループホールディングス 代表取締役会長兼C.E.O.

鷺見 良彦 財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事

中富 道隆 独立行政法人 日本貿易振興機構 副理事長

野間 省伸 株式会社 講談社 代表取締役副社長

広瀬 道貞 社団法人 日本民間放送連盟 会長 (株式会社 テレビ朝日 取締役相談役)

福地 茂雄 日本放送協会 会長

松岡 功 社団法人 映画産業団体連合会 会長 (東宝株式会社 名誉会長)

矢内 廣 ぴあ株式会社 代表取締役社長

和田 洋一 社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長
(株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長)

(以上、50音順)

内山 俊一 内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長

利根川 一 総務省 大臣官房審議官 (情報流通行政局担当)

門司健次郎 外務省 広報文化交流部長

清木 孝悦 文化庁 文化部長

武井 俊幸 経済産業省 大臣官房審議官 (IT戦略担当)

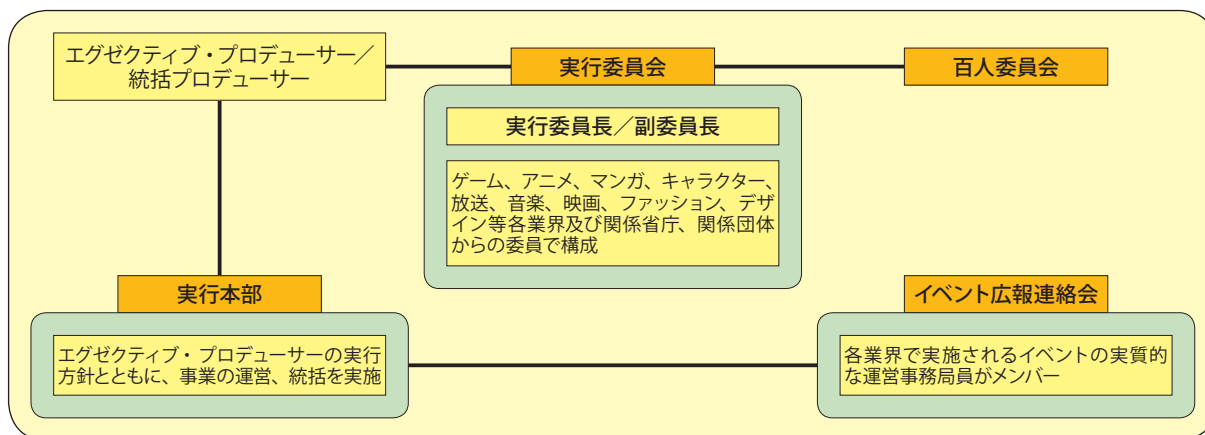
甲斐 正彰 観光庁 審議官

小島 昭 東京都 産業労働局 観光部 観光部長

運営体制

運営組織図／JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会／ イベント広報連絡会

■運営組織図



■JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会

コ・フェスタの最高意思決定機関として、エグゼクティブ・プロデューサー等から上
申された事項を審議、決議すると共に、コ・フェスタ独自のイベントの実施及び広
報活動並びに各業界イベントとの協力体制の強化を行う。

●第1回実行委員会

日時：4月7日(火) 16:00より

場所：経団連会館 10F 1002号室 ルビールーム

【審議事項】

第1号議案 委員長、副委員長、エグゼクティブ・プロデューサー (EP) の選任の件

第2号議案 CoFesta2009の基本コンセプト承認の件

第3号議案 イベントカテゴリー承認の件

第4号議案 オフィシャルイベント承認の件

●第2回実行委員会

日時：6月23日(火) 16:00より

場所：東京會館 丸の内本館 11F ゴールドルーム

【審議事項】

第1号議案 オリジナルイベント主催承認の件

●第3回実行委員会

日時：9月1日(火) 11:00より

場所：東京會館 丸の内本館 11F ゴールドルーム

■イベント広報連絡会

コ・フェスタ実行本部とオフィシャルイベント事務局代表者が集まり、実務レベルで
のイベント同士の情報交換を行い、イベント運営及び広報に関する項目について連
携を深めた。

第1回 4月20日(月)

第2回 6月26日(金)

第3回 9月15日(火)

第4回 11月25日(水)



実行委員会



実行委員会



イベント広報連絡会



イベント広報連絡会

CoFesta 2009

CoFesta の「顔」

CoFesta メインキャラクター



コ・フェスタのメインキャラクターは、3年目となる今年も、国際的俳優の役所広司氏が務めました。コ・フェスタのポスターやグランドセレモニーでは3D映像で登場するなど、さまざまな形でジャパン・コンテンツの魅力を国内外に伝えました。

役 所 広 司

CoFesta の「顔」

CoFesta2009 イメージキャラクター



コ・フェスタのイメージキャラクターは、昨年に引き続きファッションモデル、女優として世界を舞台に活躍している杏氏が務めました。フランスパリで行った記者会見やグランドセレモニーを始め、コ・フェスタのさまざまなイベントに登場し、ジャパン・コンテンツの魅力を国内外に伝えました。

杏

CoFesta の「顔」

トータルディレクション

CoFestaのシンボルマークの制作をはじめ、トータルでのアートディレクションを手がけたのが、佐藤可士和氏。
いまやトップクリエイターとして活躍する彼が、CoFestaのアートディレクションのテーマとして選んだのが、「Multi Contents Link」。



JAPAN
INTERNATIONAL
CONTENTS
FESTIVAL

「Multi Contents Link」

あらゆるコンテンツが相互に連携、影響し合いながらリンクして、新たな可能性を創造していく様を Contentsの頭文字Cをモチーフにシンボライズ。

日本からグローバルに発信する新しいプロジェクトのイメージを斬新且つインパクトをもって表現した。

カラーリングの考え方はマルチカラーグラデーションを基本とし、多彩な色相のグラデーションで展開することにより、様々な人、情報、メディアが集まり、交流しながら広がるコミュニケーションの輪の楽しさを象徴している。

佐藤可士和

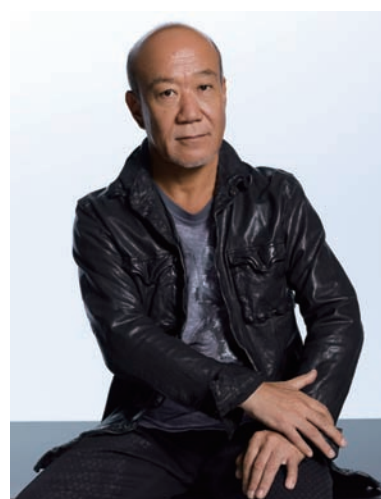


CoFesta の「顔」

公式テーマ曲

公式テーマ曲「Links」は2007年の第1回コ・フェスタ開催に向け、JAPANコンテンツの祭典にふさわしいテーマ曲をという願いから、現代日本を代表する作曲家久石氏に作曲を依頼、同年のコ・フェスタオープニング・セレモニーにて初披露されたものです。さまざまなコンテンツがコンテンツの頭文字である“C”マークを中心に、集散拡散しながら相互に連携リンクする様を見事に表現された作品となりました。今年は「Links」が、久石氏の最新アルバム「Minima_Rhythm」(発売元：ユニバーサル ミュージック) に新たにロンドンでレコーディングされたバージョンが収録、また「オーケストラコンサート2009〜ミニマリズムツアー〜」にて演奏されました。

久石 譲



百人委員会

百人委員会とは／百人委員会結団式



■百人委員会とは

正式名称：JAPAN国際コンテンツフェスティバル百人委員会
(通称：百人委員会)

設立主旨：コ・フェスタを産業界から支援することを目的とする

CoFesta2009活動内容：百人委員会結団式の開催、結団式及びグランドセレモニーでの委員一覧・企業ロゴマーク一覧パネル掲載、グランドセレモニーへの参加、CoFesta公式ガイドブックおよびウェブサイトへの委員一覧・企業ロゴマーク一覧掲載協力

■百人委員会結団式

日時：9月1日(火) 12:15～13:15

場所：東京會館 丸の内本館 11階 シルバールーム

司会：森尾ナオアキ

出席者数：約170名

(百人委員本人・代理・随行・実務担当者約80名、CoFesta実行委員会関係者約50名、オフィシャルイベント関係者約40名)

次第：

1. 開会挨拶 (大谷信義 コ・フェスタ2009実行委員会 委員長)
2. 副委員長・エグゼクティブ・プロデューサーご紹介
3. ご挨拶 (石黒憲彦 経済産業省商務情報政策局長)
4. 委員長紹介とご挨拶&乾杯
(原 良也 百人委員会委員長 (株)大和証券グループ本社最高顧問／
(社)日本経済団体連合会産業問題委員会 委員長)
(ご歓談)
5. 閉会 (依田 巽 コ・フェスタ2009実行委員会 副委員長)

百人委員会

委員一覧

【委員長】

原 良也 (株)大和証券グループ本社 最高顧問

【委員 社名五十音順】

伊藤源嗣 (株)HHI 相談役
稲垣正夫 (株)アサツー ディ・ケイ 代表取締役会長
秋山耿太郎 朝日新聞社 代表取締役社長
池田弘一 アサヒビール(株) 代表取締役会長
丹羽宇一郎 伊藤忠商事(株) 取締役会長
亀井 淳 (株)イトーヨーカ堂 代表取締役社長
長瀬文男 (株)イマジカ・ロボットホールディングス 代表取締役会長 グループCEO
石橋博良 (株)ウェザーニューズ 代表取締役会長
菅田史朗 ウンコ電機(株) 代表取締役社長
小野直路 (株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長
鈴木正一郎 王子製紙(株) 代表取締役会長
篠塚勝正 沖電気工業(株) 取締役会長
井上泰一 角川映画(株) 代表取締役社長
井上伸一郎 (株)角川書店 代表取締役社長
辻本憲三 (株)カブコン 代表取締役会長
福井澄朗 関西テレビ放送(株) 代表取締役社長
木下直哉 (株)キノシタ・マネージメント 代表取締役
依田 巽 ギャガ(株) 代表取締役会長兼社長 CEO
御手洗富士夫 キヤノン(株) 代表取締役会長
村瀬治男 キヤノンマーケティングジャパン(株) 代表取締役会長
加藤壹康 キリンホールディングス(株) 代表取締役社長
小池武久 キングレコード(株) 代表取締役会長
伊従 勝 (株)コーエー 代表取締役執行役員会長CEO
松浦規之 コダック(株) 代表取締役社長
田中富美明 (株)コナミデジタルエンタテインメント 代表取締役社長
坂根正弘 (株)小松製作所 代表取締役会長
田附章雄 コロムビアミュージックエンタテインメント(株) 執行役
柄澤哲夫 (株)ゴンゾ 執行役員社長 兼 CEO
住田良能 (株)産業経済新聞社 代表取締役社長
原田 健 ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン
合同会社 最高経営責任者兼社長
町田勝彦 シャープ(株) 代表取締役会長 兼 CEO
迫本淳一 松竹(株) 代表取締役社長
大橋光夫 昭和電工(株) 取締役会長
森 祐治 (株)シンク 代表取締役社長
渡 文明 新日本石油(株) 代表取締役会長
秋山政徳 スカパーJSAT(株) 代表取締役執行役員社長
和田洋一 (株)スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長
米倉弘昌 住友化学(株) 代表取締役会長
岡 素之 住友商事(株) 取締役会長
花岡清二 セイコーエプソン(株) 代表取締役会長
大橋洋治 全日本空輸(株) 取締役会長
土橋昭夫 双日(株) 代表取締役会長
中鉢良治 ソニー(株) 取締役 代表執行役 副会長
毛塚善文 ソニーPCL(株) 代表取締役社長
北川直樹 (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役
大塚徹哉 (株)第一通信社 代表取締役社長
鈴木茂晴 (株)大和証券グループ本社 執行役社長
山内隆司 大成建設(株) 代表取締役社長
北島義俊 大日本印刷(株) 代表取締役社長
佐藤慶太 (株)タカラトミー 取締役副社長
徳光彰二 中京テレビ放送(株) 代表取締役社長
大石幼一 中部日本放送(株) 代表取締役社長
西山千秋 (株)テイチクエンタテインメント 代表取締役社長
吉田博昭 (株)ディー・ワイ・オー 代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者
杉山知之 デジタルハリウッド(株) デジタルハリウッド大学学長
来間 紘 テレビ愛知(株) 代表取締役社長
君和田正夫 (株)テレビ朝日 代表取締役会長
上田克己 テレビ大阪(株) 代表取締役社長
菅谷定彦 (株)テレビ東京 代表取締役会長

2009年9月1日現在 百人委員会就任企業120社

侯木盾夫 (株)電通 相談役
岡田裕介 東映(株) 代表取締役社長
高橋 浩 東映アニメーション(株) 代表取締役社長
浅野碩也 東海テレビ放送(株) 代表取締役社長
市野紀生 東京ガス(株) 取締役会長
清水正孝 東京電力(株) 取締役社長
城所賢一郎 (株)TBSテレビ 取締役副会長
西室泰三 (株)東芝 相談役
高井英幸 東宝(株) 代表取締役社長
林田 洋 (株)東北新社 代表取締役社長
榊原定征 東レ(株) 代表取締役社長
藤田弘道 凸版印刷(株) 相談役
張富士夫 トヨタ自動車(株) 取締役会長
堀 鐵藏 名古屋テレビ放送(株) 代表取締役社長
佐藤直樹 日活(株) 代表取締役社長
重久吉弘 日揮(株) 日揮グループ代表 相談役
大輝精一 (株)日経BP 代表取締役会長
丹羽信一 (株)日本経済広告社 代表取締役社長
杉田亮毅 (株)日本経済新聞社 代表取締役会長
西松 遥 (株)日本航空 代表取締役社長
李 昌烈 日本サムスン(株) 代表取締役社長
岡村 正 日本商工会議所 会頭
氏家齊一郎 日本テレビ放送網(株) 代表取締役 会長
矢野 薫 日本電気(株) 代表取締役執行役員社長
吉田秀俊 日本ビクター(株) 代表取締役社長
氏家純一 野村ホールディングス(株) 取締役会長
成田純治 (株)博報堂 代表取締役社長
佐藤 孝 (株)博報堂DYメディアパートナーズ 代表取締役社長
徳市慎治 (株)バップ 最高顧問
中村邦夫 パナソニック(株) 代表取締役会長
本田昌広 (株)パノラマ 代表取締役
高須武男 (株)バンダイナムコホールディングス 代表取締役会長
矢内 廣 びあ(株) 代表取締役社長
深澤祐二 東日本旅客鉄道(株) 常務取締役
古川一夫 (株)日立製作所 特別顧問
林 瑞峰 (株)ヒューマックスシネマ 代表取締役社長
後藤由多加 (株)フォーライフミュージックエンタテイメント 代表取締役社長
秋草直之 富士通(株) 取締役相談役
豊田 皓 (株)フジテレビジョン 代表取締役社長
加藤丈夫 富士電機ホールディングス(株) 特別顧問
古森重隆 富士フイルム(株) 代表取締役社長・CEO
大島康広 (株)プラザクリエイト 代表取締役社長
桐畑敏春 (株)ポニーキャニオン 代表取締役社長
堀 一貴 (株)ホリプロ 取締役副会長
北村正任 (株)毎日新聞社 会長
河内一友 (株)毎日放送 代表取締役社長
齋藤 宏 (株)みずほコーポレート銀行 取締役会長
飯島彰己 三井物産(株) 代表取締役社長
岩沙弘道 三井不動産(株) 代表取締役社長
野間口有 三菱電機(株) 取締役
畔柳信雄 (株)三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役社長
森 稔 森ビル(株) 代表取締役社長
高原慶一朗 ユニ・チャーム(株) 取締役 取締役会会長
石坂敬一 ユニバーサル ミュージック合同会社 最高経営責任者兼会長
吉野伊佐男 吉本興業(株) 代表取締役会長
内山 齊 (株)読売新聞グループ本社 代表取締役社長
高田孝治 読売テレビ放送(株) 代表取締役会長
座安 弘 琉球放送(株) 代表取締役社長
吉田 敬 (株)ワーナーミュージック・ジャパン 代表取締役社長兼 CEO
和崎信哉 (株)WOWOW 代表取締役社長
塚本能交 (株)ワコールホールディングス 代表取締役社長

CoFesta2009 Official Events

コ・フェスタ オフィシャルイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベントです。

CEATEC JAPAN 2009

東京ゲームショウ 2009

日本ゲーム大賞 2009

KYOTO Cross Media Experience 2009 (KYOTO CMEX 2009)

東京コンテンツマーケット 2009 (TCM2009)

ライセンシング・アジア 2009

ジャパン・アニメコラボ・マーケット 2009 (JAM 2009)

秋葉原エンタまつり 2009

第22回 東京国際映画祭

TIFFCOM 2009 Marketplace for Film & TV in Asia

第6回 文化庁映画週間 - Here & There

ジャパン・ロケーション・マーケット 2009

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009

第26回 ATP 賞テレビグランプリ 2009

第6回 東京アジア・ミュージックマーケット

第9回「東京発 日本ファッション・ウィーク」

デジタルコンテンツ EXPO 2009

第36回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

最先端IT・エレクトロニクス総合展
オフィシャルイベント **CEATEC[®]**
JAPAN

名 称： CEATEC JAPAN 2009
会 期： 2009年10月6日(火)～10月10日(土)
場 所： 幕張メッセ
主 催： CEATEC JAPAN 実施協議会
(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)
情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)
(社)コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)
後 援： 総務省／外務省／経済産業省(建制順)
千葉県／千葉市／日本放送協会／(社)日本民間放送連盟／
日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所／
(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)／(独)国際観光振興機構／
アメリカ合衆国大使館商務部／欧州連合駐日欧州委員会代表部／
英国大使館貿易・対英投資部／カナダ大使館 (順不同)
協 賛： 特定非営利活動法人 ITS Japan／(財)インターネット協会／
(社)衛星放送協会／グリーンIT推進協議会／(社)情報通信技術委員会／
全国家電流通協議会／全国電機商業組合連合会／
全国電子部品流通連合会／(財)デジタルコンテンツ協会／
(社)電気通信事業者協会／(社)電波産業会／(社)日本映像ソフト協会／
(社)日本オーディオ協会／(社)日本ケーブルテレビ連盟／
(社)日本経済団体連合会／(社)日本コンピュータシステム販売店協会／
(社)日本CATV技術協会／(社)日本自動車工業会／(社)日本書籍出版協会／
(社)日本電機工業会／日本電子機器輸入協会／(社)日本レコード協会／
(社)ビジネス機械・情報システム産業協会 (五十音順)
対 象： IT・エレクトロニクス業界関係及び一般
来場者： 150,302人

■内容

●「デジタルコンバージェンス、明日をつくる、未来へつなぐ。」をテーマに

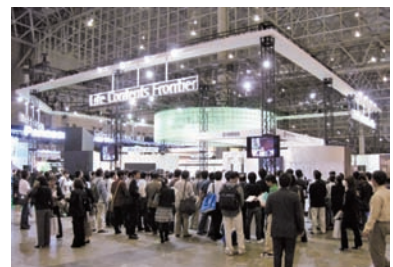
CEATEC JAPANは「デジタルコンバージェンスが明日をつくる、未来へつなぐ。」をテーマに開催、3Dなどの次世代テレビなど多くの最新IT・エレクトロニクス技術が発表されました。また、今年はCEATEC JAPAN開催10周年を迎え、10周年テーマ「Challenge! 豊かな暮らしと低炭素社会への挑戦」を掲げ、数多くの企業が豊かな暮らしと低炭素社会の実現に向けた取組みを発表しました。今年の開催規模は、590社・団体(うち海外：22カ国・地域から263社・団体)が2,123小間を出展。5日間の会期中に総登録来場者数150,302人(登録来場者数126,058人、登録プレス数2,263人、出展関係者数21,981人)に来場いただきました。

●経済産業省が策定するコンテンツ分野の技術戦略マップを戦略ベースに成果

コンテンツ分野連携企画として「ライフコンテンツ フロンティア」を実施。策定から2年目となる「コンテンツ分野の技術戦略マップ」事業と連携。コンテンツの定義を従来のエンタテインメントの枠を超えて、生活の様々な局面で果たす、コンテンツ技術の可能性と将来像を、ブース展示とシンポジウム企画を通して提案しました。ブース展示は、大手デジタル家電メーカーが出展するゾーンに出展。まず、「コンテンツ分野の技術戦略マップ」とコンテンツ産業強化政策について、会場映像を通じてわかりやすく来場者に訴求。出展者は、半導体、ソフト・ミドルウェア、アプリケーション、音楽機器、映像制作等の企業にユーザーインターフェースの研究機関を加えた7つの事業者にわたり、最新のコンテンツ技術を提案しました。企画テーマを技術戦略マップでも取上げられている「AR(拡張現実)技術」とし、各社がもつコンセプトと技術を使い、実際に来場者が体験できるかたちで提案。展示会場で実施したアンケート結果によると、約8割の来場者がブース展示に「満足した」と答えるなど、多くの来場者から好評を得ました。また、9日に開催されたシンポジウムも、AR技術分野を代表する産学官の第一人者が満員の聴講者を前に、コンテンツ技術がもたらす将来像について提言を行いました。

●メディアを通じてもコンテンツ技術の可能性を訴求

ライフコンテンツ フロンティア出展者が、開催前日から数多くのTVメディアの取材を受け、新たなコンテンツ技術の可能性が、報道・情報番組を通じて紹介され、新しい技術トレンドの後押しにも成果を上げました。



オフィシャルイベント **TOKYO GAMESHOW 2009**



名 称：東京ゲームショウ 2009
 会 期：2009年9月24日(木)～9月27日(日)
 場 所：幕張メッセ
 主 催：(社)コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
 共 催：日経BP社
 後 援：経済産業省
 対 象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般
 来場者：185,030人

■内容

出展社数：180社(国内88社、海外92社)
 展示小間数：1,367小間(海外107小間)
 プレス来場者数：4,339(海外1,252人)
 出展タイトル：758タイトル(事前登録数)

●展示コーナー

一般展示、ゲームスクール、ビジネスソリューション、アドバンスドモバイル & PC、キッズ、物販

●TGSフォーラム 2009【基調講演】

第一部：「ソニー・コンピュータエンタテインメント 2009 新戦略」
 平井一夫 (ソニー・コンピュータエンタテインメント 代表取締役社長兼グループCEO)

第二部：「パネルディスカッション ～グローバル時代におけるトップメーカーの戦略と展望」
 辻本春弘 (カプコン 代表取締役社長 COO)
 北上一三 (コナミデジタルエンタテインメント 取締役執行役員副社長)
 和田洋一 (スクウェア・エニックス 代表取締役社長 CEO)
 吉田修平 (ソニー・コンピュータエンタテインメント SCEワールド・スタジオプレジデント)
 鶴之澤伸 (バンダイナムコゲームス 代表取締役社長)

●主催者企画

「SENSE OF WONDER NIGHT 2009」の開催

新しいゲームのアイデアを発掘する企画として、昨年に引き続き「SENSE OF WONDER NIGHT 2009」をビジネスデイ2日目の9月25日(17:00～19:30)に開催。18の国と地域から65件の応募があり、国内6・海外4(アメリカ2、オーストラリア・スウェーデン各1)の計10作品のプレゼンテーションを行った。当日のプレゼンはすべてビデオに収録し、公式ウェブサイト(<http://tgs.cesa.or.jp/sown/>)で公開中。

- ・主催：CESA／日経BP社
- ・協力：国際ゲーム開発者協会日本(IGDA日本)
- ・協賛：CRI・ミドルウェア／マイクロソフト／任天堂／SCE

ゲーム科学博物館(2ホール) の設置

今年は、NHK大河ドラマ「天地人」をはじめ、雑誌や書籍などでも話題の「戦国武将」人気にスポットを当て、武将人気の火付け役となったカプコンの「戦国BASARA」とコーエーの「戦国無双」シリーズのゲーム試遊コーナーや、直江兼続、上杉謙信、伊達政宗といった著名な戦国武将の甲冑(NHK大河ドラマ向け)やゆかりの品などを展示し、戦国時代や各武将、ゲームの特徴などを解説した。

- ・協力：カプコン、コーエー、長野県上田市、宮城県白石市、丸武産業

ゲーム科学博物館(4ホール) の設置

4ホールに展示した「ゲーム科学博物館」では、最新家庭用ゲーム機の進化を理解するための解説と東京ゲームショウが歩んできたゲーム業界の歴史をまとめた解説を展示した。



オフィシャルイベント



Japan Game Awards : 2009

日本ゲーム大賞

名称：日本ゲーム大賞 2009
会期：2009年9月24日(木)～9月27日(日)
場所：「東京ゲームショウ2009」メインステージ
主催：(社)コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
後援：経済産業省
対象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般

■内容

●「経済産業大臣賞」(発表授賞式：9月24日(木) 16:00～17:45)

日本の家庭用ゲーム産業の発展に寄与された「人物」並びに制作チーム等の団体に贈られる賞。本年は、株式会社サンプラザ「MONSTER HUNTER 開発チーム」が受賞。

●「年間作品部門」(発表授賞式：9月24日(木) 16:00～17:45)

対象作品：2008年4月1日から2009年3月31日までの間日本国内でリリースされた作品。年間を代表するにふさわしい最も優れた作品に贈られる「大賞」には、「マリオカート Wii」(任天堂)と「METAL GEAR SOLID 4 GUNS OF THE PATRIOTS」(コナミデジタルエンタテインメント)が選出された。

●「アマチュア部門」(発表授賞式：9月26日(土) 11:30～12:30)

対象作品：アマチュアの方が制作したオリジナルの未製品化作品。
応募総数 237 作品の中から、業界誌編集者、クリエイターによる審査を経て、10 作品が受賞作品として選出。「大賞」には、初の受賞となる東京工芸大学(制作チーム名「タケノコ」)の「BAMBOONO(バンブーノ)」が選ばれた。

●「フューチャー部門」(発表授賞式：9月27日(日) 12:30～13:30)

対象作品：「東京ゲームショウ2009」に出展された未発売作品
「東京ゲームショウ2009」会期中に来場者投票を実施。その後、日本ゲーム大賞選考委員による審査を経て、今後が期待される作品として、12 作品が選出された。

●「JAPAN 国際コンテンツフェスティバル」との連動企画

「クリエイターズトークショー」

内容：日本を代表するトップクリエイターによるトークショー。昨年に引き続き、豪華出演者とともに開催。

出演：名越稔洋 (株)セガ、クリエイター代表)
日野晃博 (株)レベルファイブ、クリエイター代表)
有野晋哉 (よゐこ、ユーザー代表スペシャルゲスト)
浜村弘一 (株)エンターブレイン、ナビゲーター)

会期：9月27日(日) 14:10～15:10

場所：東京ゲームショウ2009 イベントステージ

「コ・フェスタ 親子ゲームブース」

内容：親子ゲーム制作体験、なつかし＆最新ゲーム試遊コーナー、年齢別レーティング制度の紹介など、子供達とその保護者に対し、ゲームへの正しい理解とゲームの制作やクリエイターに関する興味喚起を目的に実施。

会期：9月26日(土)～27日(日)

場所：東京ゲームショウ2009 キッズコーナー内

「コ・フェスタ メインブース」

内容：ゲームソフトがエンターテインメント分野にとどまらず多様な分野で活用されている事例を紹介。企業、クリエイター、技術開発者の様々な視点を通して、ゲームの「今」と「未来」を展示。

会期：9月24日(木)～27日(日)

場所：東京ゲームショウ2009 展示ホール3



オフィシャルイベント

KYOTO CMEX 2009



国際クロスメディアカンファレンス



国際クロスメディアカンファレンス



ネットワーキングミーティング (第1部)



ネットワーキングミーティング (第2部)



HISTORICA

名称：KYOTO Cross Media Experience 2009 (KYOTO CMEX 2009)

会期：2009年9月26日(土)～10月4日(日)

※プレイベントは9月12日(土)から開催

会場：京都駅・祇園エリア

祇園甲部歌舞練場／龍谷大学大宮学舎／西本願寺／京都コンピュータ学院
烏丸御池エリア

京都国際マンガミュージアム

太秦エリア

東映京都撮影所／松竹京都撮影所／東映太秦映画村 他

主催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

委員長：齋藤 茂(京都商工会議所 京都ブランド推進特別委員会委員長、
(株)トーセ 代表取締役社長)

部会長：細井浩一(立命館大学 映像学部教授、副学部長)／中島貞夫(映画
監督)／竹宮恵子(京都精華大学 マンガ学部教授、学部長)

構成：経済産業省近畿経済産業局／東映(株)京都撮影所／(株)松竹京都撮影
所／(株)東映京都スタジオ／(財)京都文化財団・京都文化博物館／
京都国際マンガミュージアム／京都精華大学・国際マンガ研究セン
ター／京都造形芸術大学芸術学部／京都嵯峨芸術大学芸術学部
／関西学院大学社会学部／(財)大学コンソーシアム京都／ITコンソー
シアム京都／(財)京都産業21／(財)京都高度技術研究所／日本映像
振興(株)／京都市教育委員会／京都府／京都市／京都商工会議所

事務局：京都府／京都市／京都商工会議所

対象：国内外や京都のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイター
を目指す学生、一般消費者など

来場者：80,600人

■内容

●国際クロスメディアカンファレンス

日時：9月30日(水) 10:00～17:00、10月1日(木) 9:30～16:20

会場：祇園甲部歌舞練場／龍谷大学大宮学舎

概要：「京都発・未来のクロスメディアを拓く」をテーマに、「コンテンツとコミュ
ニケーション」、「コンテンツとテクノロジー」、「コンテンツとトポス(都市性)」、
「コンテンツとナラティブ(物語性)」の4つの視点から今後のクロスメディ
アの発展方向を探るとともに、コンテンツ産業の振興とその担い手の育
成を目的に実施。

●ネットワーキングミーティング

日時：10月1日(木) (第1部) 16:30～17:30 (第2部) 18:00～19:30

会場：(第1部) 西本願寺 鴻の間・飛雲閣(国宝)

(第2部) 西本願寺 間法会館

概要：コンテンツ産業に携わる国内外のトップランナーや将来の担い手となる若
手クリエイター等の分野横断的な人材交流とネットワークを深めることを
目的に実施。

第1部では京都のコンテンツの源流ともいえる西本願寺の国宝「鴻の間」や
「飛雲閣」を視察し、第2部ではCrIS関西2009実行委員会と合同でレセ
プションを実施。

●HISTORICA ～Trans Samurai(越境するサムライ)～

日時：9月26日(土) 10:30～20:00、27日(日) 10:30～19:05

会場：祇園甲部歌舞練場

概要：京都の歴史等を題材とした映画を中心に、CG、アニメ、TV演劇等クロ
スメディア展開が可能な映像コンテンツを上映。また現在そして将来の時
代劇をはじめ映画・映像制作に欠かせないエキスパートや国際的な映画・
映像制作のノウハウを持つプロデューサーなどを招き、未来のクリエイター
との交流を実施。事業を通じ映画を基盤としたクロスメディア展開の将来
展望とその手法も発信。

●CGアニメコンテスト

日時：9月26日(土) 13:00～18:00

会場：京都コンピュータ学院

概要：コンテンツ業界において伸張著しい分野であるCGアニメの人材育成を目的として実施されたコンテストの入選作品等の上映と表彰を実施。
吉浦康裕監督による作品「イヴの時間」完成記念トークショーも実施。

●CGアニカップ 日仏親善試合

日時：9月27日(日) 14:40～19:00

会場：京都コンピュータ学院

概要：CGアニメの国際的な人材交流を目的とし、CGアニメコンテストの入賞作品5作品とフランスで開催され、ヨーロッパ16カ国が参加しているデジタル映像コンテスト「e-magiciens」から選抜された5作品との一般来場者の評価による国際親善試合を実施。試合は、3対2で日本チームが勝利。

●京都国際マンガミュージアム マンガ・アニメイベント

日時：9月12日(土)～10月1日(木)

会場：京都国際マンガミュージアム

概要：特別展「美少女フィギュア原型師ボーメの世界」、京都の一流料理人が語るマンガと京料理に関するトークショー、カナダ・アニメーションフェスティバル等のアニメ上映会、CGアニメ制作に関するワークショップ、会場を巨大映像でデコレーションする試みなど、京都のコンテンツとして欠かせないマンガ・アニメに関するイベントを実施。

●京都太秦シネマフェスティバル

日時：9月26日(土)～10月4日(日)

会場：東映京都撮影所／松竹京都撮影所／東映太秦映画村 他

概要：戦国時代をテーマにしたシンポジウムやコスプレイベント、映画制作に関する子どもワークショップ、若手才能育成ラボ、映画の名場面の舞台を訪ねるバスツアーなど、映画のまち・太秦の魅力を伝えるイベントを実施。

●Nintendo ゲームイベント

日時：10月3日(土)、4日(日) 10:00～16:00

会場：東映京都撮影所

概要：京都のゲームコンテンツとして世界的な人気を誇る「任天堂」の京都初開催のゲームイベントで、撮影所のスタジオを会場に、映画とのコラボレーションを実現、クロスメディアの可能性を示唆したイベントとなった。

●エキスカーション

日時：10月1日(木) 12:30～16:30

場所：松竹京都撮影所／京都国際マンガミュージアム／元離宮二条城／西本願寺

概要：国内外のゲストを対象に京都が世界に誇る「映画」、「マンガ」、「伝統文化」などのコンテンツ資産を巡るツアーを実施。

●その他

「ALL DAY どっつい生きてる 紙芝居」～10人紙芝居師フルマラソン～

9月25日(金)、前夜祭としてJR京都駅烏丸口正面広場に10人の紙芝居師が一堂に集まり、朝7時から夜9時まで14時間、黄金バットやオペラ紙芝居の口演を実施するとともに、翌日から始まるKYOTO CMEX 2009の広報を実施。

エリア限定ワンセグ放送によるイベントプロモーション実証実験

KYOTO CMEX 2009の期間中、主要なイベント会場で、各イベントのプロモーション、複数イベントに参加する参加者の行動把握を目的にエリア限定ワンセグによる情報配信を実施。



CG アニカップ 日仏親善試合



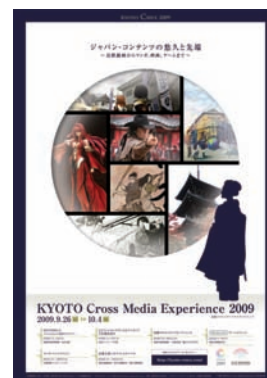
京都国際マンガミュージアム
特別展「美少女フィギュア原型師ボーメの世界」



京都太秦シネマフェスティバル
戦国コンテンツシンポジウム



Nintendo ゲームイベント



オフィシャルイベント



名 称：東京コンテンツマーケット 2009
 会 期：2009年10月14日(水)～10月16日(金)
 場 所：東京ビッグサイト 東1ホール
 主 催：経済産業省 関東経済産業局
 共 催：(独)中小企業基盤整備機構
 連携企画：TIFFCOM2009 Marketplace for Film & TV in Asia
 協 力：首都圏情報ベンチャーフォーラム
 後 援：(財)デジタルコンテンツ協会／(社)デジタルメディア協会／(財)CG-ARTS協会
 対 象：コンテンツ関連事業者、コンテンツビジネスに興味のある一般来場者等
 来場者：9,684人

■内容

●中小企業・個人クリエイターが制作するオリジナルコンテンツの見本市
(出展者数：80社(者)及び「地域発コンテンツ」コーナー19社(者))

●ライセンシング・アジアとの合同オープニングセレモニー(テープカット)

●『TCMアワード』授賞式(優秀作品を発表・表彰)

- ・「大賞」1作品……『Yans! Gans! MEAT OR DIE_01』 ボーナス(株)
- ・「審査員特別賞」4作品……『仏像キャラクター ブッディーズ』 レイランド
『モザイク「舞妓」』 モザイク
『戦国驍刃デュラハン』 グレープシティ(株)ワインスタジオ
『歳字記』 静岡県中部地区 SOHO 推進協議会
- ・「サポーターズ賞」9作品

●セミナー(コンテンツ業界の代表者によるディスカッション)

・『TCM審査員』会議

- パネリスト： 岡本吉起 (株)ゲームリパブリック 代表取締役社長
 河井真也 (株)フジテレビジョン 映像企画部企画担当部長
 森 祐治 (株)シンク 代表取締役社長
 陸川和男 (株)キャラクター・データバンク 代表取締役社長、
 東京大学大学院 情報学環特任研究員)

モデレーター： 藤井雅俊 (メディアラグ(株)代表取締役)

・「デジタルネイティブ世代におけるクリエイティビティ」

- パネリスト： 大薙淳司 (マイスペース(株) 代表取締役社長)
 竹中直純 (株)ニワンゴ 取締役
 森川 亮 (NHN Japan(株) 代表取締役社長)

モデレーター： 新 清士 (国際ゲーム開発者協会日本 代表)

・「地域コンテンツのビジネスモデル」

- パネリスト： 井上俊彦 (特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション 事務局長)
 土橋正道 (株)テレビマンユニオン 常務取締役
 若林宗男 (株)ジュピターテレコム 放送・制作部長

モデレーター： 太下義之 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長)

●特別企画

①TIFFCOMへのブース出展

(TCMアワード大賞作品を中心とした展示・商談)

②タカラトミーアーツプレゼンツ「クリエイター出口支援プロジェクト」

(株)タカラトミーアーツの協力によるTCM出展作品の商品化及び国内での販売。
 また、アメリカでの大規模見本市への出品も視野にいたったプロモーションを実施。)

3作品……『のそのそGENSO』 ホネスタ

『まめまめねこねこ』 ひだみお

『たびするふたご ピーナッツインズ』 Planet Planter(プラブラ)

オフィシャルイベント LICENSING ASIA 2009

名 称：ライセンシング・アジア 2009
 会 期：2009年10月14日(水)～10月16日(金)
 場 所：東京ビッグサイト 東1ホール
 主 催：ライセンシング・アジア実行委員会
 LIMA(国際ライセンシング産業マーチャンダイザーズ協会)
 後 援：経済産業省／一般社団法人日本商品化権協会／
 一般社団法人日本動画協会／不正商品対策協議会／香港貿易発展局／
 韓国コンテンツ振興院／英国大使館貿易・対英投資部
 企画協力：日本経済新聞社 クロスメディア営業局
 企画運営：ADEX 日本経済広告社
 マーケティングパートナー：キャラクター・データバンク
 出展対象：キャラクター／アニメ・映画／ブランドなどを中心とした著作権保有・管理企業
 来場対象：メーカー（商品企画・広告／販促）、流通／サービス、自治体、広告／販促
 来場者：9,684人(ビジネスショーのため一般来場はありません)

■内容

●概要

ライセンシング・アジアは、キャラクター／アニメ・映画／ブランド／スポーツなどの1次コンテンツを、商品化／広告プロモーションなどへの2次コンテンツ使用に活用できるプロパティを紹介する国内最大のビジネス・トレードショー。

●テーマ

【感動(ライセンス) がもたらす、新たな消費マーケット】

ライセンスを通した、モノの付加価値創造を出展者と来場者との交流にて実現。

●実施展開

ライセンス(2次使用) ビジネスの「健全な発展と産業価値を広く社会に発信する」ことを目的として、展示会を核に、日本経済新聞社メディアを活用したビジネス・トレンドを紹介する「大型記事&広告特集」の事前実施や、08年度に活躍したプロパティ(キャラクター&ブランド等)を評価・表彰するアワード「ライセンシング・オブ・ザ・イヤー2009」を会場にて発表。

●展示会場ゾーニング

①出展企業ゾーン

・ブランド&スポーツゾーン ・絵本の森ゾーン ・キャラクターゾーン

②企画展示ゾーン

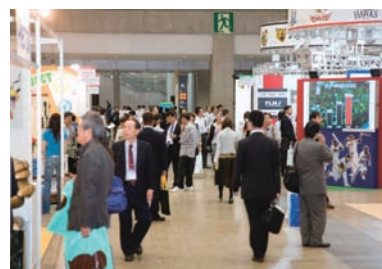
地方自治体ゆるキャラ紹介など、エンタテインメントビジネスの今を紹介。

③セミナー&セレモニーゾーン

- ・主力来場ターゲット層に向け、実務経験豊富な現役企業経営者クラスを中心とした講師を揃え、実務型セミナーを6講演実施。
- ・08年度に活躍したプロパティを評価・表彰する「ライセンシング・オブ・ザ・イヤー2009」を8部門にわたり発表。

●その他

「東京コンテンツマーケット2009」との同時開催により、両イベントの来場者増加(対前年比)や両主催者による共同企画プロジェクトの推進など、相乗効果が上がる結果を実現。

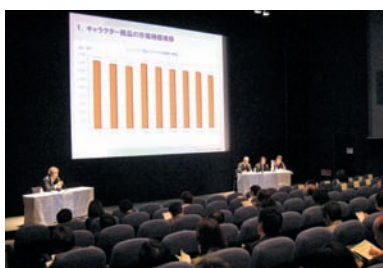


CoFesta 2009

オフィシャルイベント

JAM
2009
ジャパン・アニメコラボ・マーケット

ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009
in 秋葉原UDX



名 称： ジャパン・アニメコラボ・マーケット 2009 (JAM 2009)
会 期： 2009年10月15日(木)～10月18日(日)
場 所： 秋葉原UDX 2F「アキバ・スクエア」/4F「UDXシアター」
主 催： 一般社団法人日本動画協会・JAM2009実行委員会/経済産業省
対 象： アニメ・コンテンツビジネス関係者、および一般来場者
来場者： 20,039人

■内容

JAMは、一般からの公募により、アニメ作品・キャラクターとのコラボによる2次利用商品企画を提案する「アニメプロダクト企画オーディション」を核とした、新たな視点の企画や商品を提案するアイデアの見本市です。

JAM2009は、本年、3回目の開催を迎えるにあたり、これまでの成果の集大成として、3つの目標を立てました。

- ・アニメの2次利用とは何かを体感させる展示。
 - ・広報によるアニメの2次利用への認知の拡大を得る。
 - ・これまでにないコラボレーションをセッティング、B to Cの広がりを狙う。
- このようなコンセプトの再定義と、「アニメの2次利用を体感するイベント」「イベントの存在を知らしめる」という広報に注力し、来場者数20,039人(昨年(3日間)比222.21%、一日平均比較165.56%)、取材社(者)延べ、121媒体155名(昨年41媒体)と、好結果を得ることができました。

昨年度からの具体的な改善点としては、アニメの2次利用企画公募を核とすることは変わらず、以下の4つを実施しました。

- ・公募レギュレーションの整理：アイデア中心 から サンプル製作必須 へ
- ・テーマを決めて応募誘致のアプローチを行う(主に伝統工芸と先端技術)
- ・2次利用のサンプル展示として、招待展示を体感するカタログとして計画する(『エヴァンゲリオン』からの商品展開の広がり、『戦国BASARA』と地域振興 など)
- ・B to Cの広がりを意識し、3日間ビジネス2日・パブリック1日)から4日間(同各2日)に会期延長

これらの施策と参加者の増加により、2Fメイン会場では出展者と企業による商談が活発に行われました。さらに、「OPEN POST」(2次創作の商品化展開)の展示、ミニステージでの人気ラジオ番組の「公開録音」や「生中継」、「コスプレファッションショー」、「アニメよさこい」なども、アニメの2次利用の成果として、参加者の興味を集めました。

同じく4Fのシアターでは、多くのアニメ活用例や最新事情、日本のコンテンツ業界の今後などについてのシンポジウムや、映像作品の上映が多数、実施され、アニメコンテンツビジネスに注目する来場者の熱気に包まれていました。

他のコ・フェスティバルの連携に関しても、

- ・「文化庁映画週間」との共同企画のシンポジウム『アニメコンテンツによる地域ブランディング』
- ・「秋葉原エンタまつり」とのボタンタッチセレモニー
- ・「TIFFCOM」への「OPEN POST」(2次創作の商品化展開)の展示貸出
- ・「ライセンシング・アジア」「秋葉原エンタまつり」との相互広報などを実施しました。

結果、多くの参加者と、メディアへの接触者に対して、

- ・パブリシティの活用による告知と認知効果の積み上げが図れた。
- ・1作品からの商品の広がり、地域振興とアニメ作品のコラボ展示等々、2次利用のカタログとしての役割を果たし、2次利用ビジネスの基本フレームを提示した。
- ・ドライカーボンなどの「先端技術」と「アニメ」、伝統工芸品などの「和」と「アニメ」といった、コラボレーションの意外性が好評であった。

など、「アニメコンテンツの2次利用の可能性」を示す催しとして、一定の成果を得たと考えております。

オフィシャルイベント



秋葉原エンタまつり2009

AKIHABARA ENTAMATSURI 2009 10.17-10.25

名 称：秋葉原エンタまつり 2009
 会 期：2009年10月17日(土)～10月25日(日)
 場 所：秋葉原UDX (AKIBA_SQUARE/東京アニメセンター/UDXギャラリー/
 UDXシアター/東京フードシアター5+1)/秋葉原地区 協力販売店
 主 催：秋葉原エンタまつり2009 実行委員会
 共 催：経済産業省
 提携企画：ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009/第22回 東京国際映画祭/
 第9回 東京発「日本ファッション・ウィーク」/
 CoFestaまつり in 上野&秋葉原
 特別協力：秋田書店/アスキー・メディアワークス/エンターブレイン/角川書店/
 講談社/集英社/小学館/少年画報社/新潮社/白泉社/
 富士見書房/双葉社/リイド社
 後 援：秋葉原駅前商店街振興組合/秋葉原観光推進協会/
 秋葉原商店街振興組合/秋葉原タウンマネジメント/
 秋葉原中央通商店街振興組合/秋葉原電気街振興会/
 コンピュータエンターテインメント協会/
 コンピュータエンターテインメントレーティング機構/千代田区/
 つくばエクスプレス/デジタルエンターテインメント・グループ・ジャパン/
 東京アニメセンター/東京観光財団/東京商工会議所 千代田支部/
 東京都/日本映像ソフト協会/日本動画協会
 協 賛：近畿日本ツーリスト/キングレコード/
 ジェネオン・ユニバーサル・エンタテイメント/デジタル放送推進協会/
 東京ニュース通信社/徳間ジャパンコミュニケーションズ/ダウンゴ/
 バンダイナムコ ゲームス
 協 力：秋葉原UDX/角川グループパブリッシング/角川マーケティング/
 キャドバリー・ジャパン/キャラアニ/京商/セールス・オンデマンド/
 東京メトロ/日本マクドナルド/花やしき/バンダイ/
 マイクロソフト Xboxマーケティング本部/ライトクリエイト/リブリカ 他
 ※五十音順・敬称略
 対 象：B to B および B to C
 来場者：187,559人

■内容

●コミック・キャラクター展 (10月22日～25日)

大手コミック出版社共同による、日本コミック・ライトノベル人気作品のアニメ化
 や映画化などメディアミックス展開を中心とした展示を実施。

『なかよし』55周年記念、『ヤングジャンプ』30周年記念、また主要なデジタル展開
 であるwebコミックサイト『クラブサンデー』やゲーム機による新サービスのデモ
 ンストレーション、ほか各協力出版社の新作・人気作品を展示。

また、第2会場の東京アニメセンターでは、「海賊版を叩け!日本コンテンツの海
 外展開展」を開催。人気アニメ作品の海外正規版の上映や、正規版DVDのパッ
 ケージ展示など海賊版に対する啓蒙と日本コンテンツの海外展開を紹介展示。

●コミック シンポジウム (10月22日・23日)

ワールドワイドに人気を博す日本コミックを軸とした、3テーマ3セッションを実施。

- ①「デジタルを味方に付けろ! ジャパンコンテンツ」
 ～ Windows7™ 発売日に考えるコンテンツライフのこれから ～
- ②「モードはマンガを模倣する」/共催：日本ファッション・ウィーク推進機構
- ③「PSP®/PS®ストアが展開する本格コミック配信サービスとデジタルコミックの未来」

- ほか、人気作家18名による17サイン会と人気作品ポストカード配布を含む「コミッ
 ク・文庫まつり」など各コンテンツ対象の「大抽選会」、コンテンツ関連ステージ、
 人気映像作品上映会、新たに加えた「地デジまつり」と連動したHDTVによる高精
 細映像ソフト・ゲームソフトのデモンストレーション、異業種交流会等を開催。



CoFesta 2009

オフィシャルイベント



TIFF 22nd TOKYO INTERNATIONAL
FILM FESTIVAL
2009.10.17 Sat - 10.25 Sun



© 2009 TIFF



© 2009 TIFF



© 2009 TIFF



© 2009 TIFF



© 2009 TIFF



© 2009 TIFF

名 称：第22回 東京国際映画祭
会 期：2009年10月17日(土)～10月25日(日)
場 所：六本木ヒルズ(港区)をメイン会場に、都内の各劇場及び施設・ホールを使用
主 催：(財)日本映像国際振興協会(ユニジャパン)/第22回東京国際映画祭実行委員会
共 催：経済産業省(マーケット部門)/東京都(コンペティション部門)/文化庁(映画人の視点)
後 援：総務省/外務省/環境省/観光庁/(財)JKA/(独)国際交流基金/港区/日本貿易振興機構/(社)日本経済団体連合会/東京商工会議所/(社)日本映画製作者連盟/(社)映画産業団体連合会/(社)外国映画輸入配給協会/モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)/全国興行生活衛生同業組合連合会/東京都興行生活衛生同業組合/(財)角川文化振興財団/(財)デジタルコンテンツ協会/(財)港区スポーツふれあい文化健康財団/(社)デジタルメディア協会/NPO 法人 映像産業振興機構/(社)日本映像ソフト協会
助 成：芸術文化振興基金
スペシャルパートナー：トヨタ自動車(株)
オフィシャルパートナー：(株)木下工務店/日本コカ・コーラ(株)/富士ソフト(株)
協 賛：キヤノン(株)/大和証券グループ/(株)ファンケル/パナソニック(株)/楽天(株)/森ビル(株)/(株)WOWOW/(株)SANKYO/凸版印刷(株)/(株)AOKI/富士フイルム(株)/松竹(株)/東宝(株)/東映(株)/角川映画(株)/日活(株)/TOHOシネマズ(株)/(社)映画文化協会/(株)ティーワイ リミテッド
特別協力：読売新聞
チケット協力：ぴあ(株)/(株)ローソン
協 力：ドコモ動画/帝人(株)/(株)テレビ朝日/J-WAVE/ジュピターエンターテインメント(株)/ゲッティイメージズジャパン(株)/(株)Jストリーム
補 助：(財)JKA(競輪補助事業)
対 象：海外招聘ゲスト、国内招聘ゲスト、業界関係者、一般
来場者：115,738人(418,278人：提携企画を含む)

■内容

- オープニング**：10月17日(土) 六本木エリアにて
グリーンカーペット、オープニング・セレモニー、オープニング上映『オーシャンズ』、
オープニング・レセプション及びグリーンタイ晩餐会
『アバター』フッテージ上映
- クロージング**：10月25日(日) 六本木エリアにて
グリーンカーペット、クロージングセレモニー(各賞授賞式)、
クロージング上映『カールじいさんの空飛ぶ家』、感謝のタベ(懇親会)
- 作品上映：主要部門**
コンペティション、特別招待作品、アジアの風、日本映画・ある視点、ワールドシネマ、
natural TIFF
受賞結果：東京 サクラ グランプリ/最優秀監督賞 『イースタン・プレイ』
審査員特別賞 『激情』
最優秀男優賞 フリスト・フリストフ 『イースタン・プレイ』
最優秀女優賞 ジュリー・ガイエ 『エイト・タイムズ・アップ』
観客賞 『少年トロッキー』
TOYOTA Earth Grand Prix 『Wolf 狼』
最優秀アジア映画賞 『旅人』
アジア映画賞スペシャルメンション 『私は太陽を見た』
アジア映画賞特別功労賞 ヤスミン・アフマド
日本映画・ある視点作品賞 『ライブテープ』
- 作品上映：共催・提携・関連企画**
第6回 文化庁映画週間 - Here & There、みなと上映会、第22回 東京国際女性映画祭、
E.オルミ監督作品『テッラ・マードレー母なる大地』上映、コリアン・シネマ・ウィーク
2009、ショートショートフィルムフェスティバル&アジア2009「フォーカス・オン・アジア」
&ワークショップ、2009 東京・中国映画週間、ドイツ映画祭 2009、第2回 したまち
コメディ映画祭 in 台東、GTFトーキョーシネマショー2009、秋葉原エンタまつり2009、
田辺・弁慶映画 2009
- セミナー&シンポジウム**
J-Pitch@TIFFCOM、日本-香港コンテンツ・コラボレーションセミナー、ジャパン・
ロケーション・マーケット2009など
- マーケット**
TIFFCOM 2009

オフィシャルイベント



TIFFCOM 2009
Marketplace for Film & TV in Asia

名称：TIFFCOM2009 Marketplace for Film & TV in Asia
会期：2009年10月20日(火)～10月22日(木)
場所：六本木ヒルズ森タワー 六本木アカデミーヒルズ40F・49F
主催：経済産業省／(財)日本映像国際振興協会／日本映像振興株式会社
共催：第22回東京国際映画祭
後援：(社)日本経済団体連合会／(社)日本民間放送連盟／
一般社団法人日本動画協会／
(社)コンピュータエンターテインメント協会(CESA)／
(社)日本映像ソフト協会／(社)外国映画輸入配給協会／
(社)日本映画製作者連盟／(協)日本映画製作者協会／
(社)全日本テレビ番組製作社連盟／(社)衛星放送協会／
(社)映画産業団体連合会／(社)日本レコード協会／
(財)音楽産業・文化振興財団／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)

関連イベント：TPG(Tokyo Project Gathering) Seminar@TIFFCOM

連携企画：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009

対象：業界関係者

述べ来場者：20,185人

■内容

●出展社データ

出展団体数：212(2008年：201)

出展参加国数：18の国と地域(2008年：22)

新規出展参加国：ミャンマー・ポーランド

業種別出展社：映画30% テレビ30% ビデオ・DVD21% インターネット5%
携帯3% 出版2% コミック1% その他9%

●来場者データ

事前来場登録：4,037(2008年：4,006)

事前登録国数：47(2008年：43)

新参加登録国：クロアチア エストニア エジプト キルギス 南アフリカ

海外国内比：海外1,382 国内2,655(2008年1,105：2,901)

●同時開催

TPG-Tokyo Project Gathering

企画マーケット：総企画数25企画・総ミーティング数345

ネットワーキングレセプション、個別ミーティングを実施。最終日には「TPG
アワード」を実施。

2009TPGアワード：『テーブルの上の秘密』

(プロデューサー：平体雄二、監督：熊坂出)

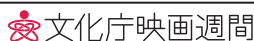
●Seminar@TIFFCOM

合計6本の企画を2日間に渡り実施。各セッションとも大盛況を博した。

- ・「海角七号 君想う、国境の南」その成功に学ぶ～映画と音楽のコラボレーション
- ・全米人気テレビライター・プロデューサーによるハリウッド式クリエイティブ・プロセス
- ・TVフォーマットセールスのいま、そして未来
- ・アニメをコアに世界に広がるクールジャパン
- ・中国映画交流における文化基礎および市場基礎
- ・日本映画の可能性～どんな日本映画が海外で「売れる」のか？～



オフィシャルイベント



文化庁映画週間

Here. There

Bunka-Cho Film Week



名 称：第6回 文化庁映画週間 - Here & There
会 期：2009年10月17日(土)～10月23日(金)
場 所：六本木ヒルズ／シネマート六本木
主 催：文化庁／(財)日本映像国際振興機構(ユニジャパン)
対 象：一般
来場者：1,869人

■内容

●平成21年度(第7回) 文化庁映画賞贈呈式

10月17日(土) 19:30～

・文化記録映画部門

文化記録映画大賞『嗚呼 満蒙開拓団』

文化記録映画優秀賞『風のかたち ー小児がんと仲間たちの10年ー』

文化記録映画優秀賞『平成 熊あらし ～異常出没を追う～』

・映画功労部門

大橋鉄矢(映画録音)／窪田治(映画装飾)／久米光男(映画照明)／園井弘一(映画編集)／中澤敏明(映画プロデュース)／原一民(映画撮影)／福田慶治(映画振興)

●平成21年度(第7回) 文化庁映画賞受賞記念上映会

10月18日(日)

10:50～ 『平成 熊あらし ～異常出没を追う～』

13:20～ 『風のかたち ー小児がんと仲間たちの10年ー』

16:20～ 『嗚呼 満蒙開拓団』

●第7回 文化庁全国フィルムコミッション・コンベンション

10月22日(木) 14:30～17:00

「アニメーション meets ロケーション ～ヒットアニメに学ぶロケハン術!」

登壇ゲスト： 細田 守 (アニメーション映画監督)

片渕須直 (アニメーション映画監督) ほか

司会： 岡本美津子(東京藝術大学大学院映像研究科 教授)

●第6回 文化庁全国映画祭コンベンション

10月23日(金) 14:00～18:00

「映画館とは何か ー変化と混沌の時代に」

基調報告： 大高宏雄 (文化通信社映画デスク)

プレゼンテーション：

堀渕清治 (Viz pictures, Inc代表取締役社長)

古賀 太 (日本大学芸術学部教授)

パネリスト： 田井 肇 (大分シネマ5支配人)

中村由紀子(東急文化村「ル・シネマ」番組編成プロデューサー)

阿部律子(オープンセサミ代表)

松山大貴(経済産業省商務情報政策局メディア・コンテンツ課)

佐伯知紀(文化庁文化政策課芸術文化調査官)

●映画人の視点 Director's Angle／Actor's Angle

10月21日(水)

「映画人、是枝裕和の世界」

カンファレンス 24:00～／スクリーニング 26:00～

出演： 是枝裕和 (映画監督)

10月22日(木)

「映画人、真田広之の世界」

カンファレンス 24:00～／スクリーニング 26:00～

出演： 真田広之 (俳優)

モデレーター： 河井真也 (プロデューサー／東京国際映画祭アドバイザー)

10月23日(金)

「映画人、松田優作の世界～没後20周年特別企画～」

カンファレンス 24:00～／スクリーニング 26:00～

モデレーター： 河井真也 (プロデューサー／東京国際映画祭アドバイザー)



オフィシャルイベント



Japan Location
Market 2009

名 称： ジャパン・ロケーション・マーケット 2009
会 期： 2009年10月20日(火)～10月22日(木)
場 所： 六本木ヒルズ
主 催： 経済産業省
企画制作： (株)コムブリッジ
対 象： 映像製作者、行政関係者、地域活性・街おこし関係者及び関心がある方、
映像制作を志す学生など
来場者： 889人

■内容

●JLMシンポジウム「映像が地域を変える！地域が映像に力を与える！」

日本各地で映画を撮影している監督をゲストにお迎えし、「映像と地域」についてディスカッションを実施。

【日時】10月22日(木) 18:00～20:00

【場所】六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム

登壇ゲスト： 中江裕司氏 (映画監督)

朝原雄三氏 (映画監督)

篠原哲雄氏 (映画監督)

ナビゲーター： 木村匡也氏

●文化庁映画週間 第7回文化庁全国フィルムコミッション・コンベンション (文化庁映画週間共同企画)

「アニメーションmeetsロケーション ～ヒットアニメに学ぶロケハン術！」

昨年のコラボレーションの成果を受けて、本年も共同企画として開催。

【日時】10月22日(木) 14:30～17:00

【場所】六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム

登壇ゲスト： 細田 守氏 (アニメーション映画監督)

片渕須直氏 (アニメーション映画監督)

原 悟氏 (信州上田フィルムコミッション)

村田 太氏 (山口県フィルム・コミッション 事務局長)

司会： 岡本美津子氏 (東京藝術大学大学院 教授)

●JLMライブステージ

日本各地で撮影をされた地域性の高い映画で、これから公開を予定している作品をいち早く紹介。出演者や関係者による作品・地域の紹介、ゆかりの産品等のプレゼントを実施。

10月20日(火)～22日(木) 12:00～13:00

【場所】六本木ヒルズ ヒルズアリーナ (TIFF Park)

20日(火)『ViVA!Kappe』(茨城県)

『非誠勿擾(フェイスチェーンウーラオ)』(北海道)

21日(水)『銀色の雨』(鳥取県)

『イパネマの少年』(北海道)

22日(木)『半分の月がのぼる空』(三重県)

『花のあと』(山形県)

●JLMブース@TIFFCOM

事業概要やJLMライブステージ出演作品、撮影地域を紹介。

10月20日(火)～22日(木) 10:00～18:00

【場所】六本木アカデミーヒルズ40 TIFFCOM会場



JLM シンポジウム



全国フィルムコミッション・コンベンション



JLM ライブステージ



JLM ライブステージ



JLM ライブステージ



JLM ブース

CoFesta 2009

オフィシャルイベント



名 称：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009
 会 期：2009年10月19日(月)～10月22日(木)
 場 所：明治記念館／千代田放送会館／六本木ヒルズ
 主 催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会

(構成団体)

(社)日本民間放送連盟／(株)TBSテレビ／日本テレビ放送網(株)／
 (株)テレビ朝日／(株)フジテレビジョン／(株)テレビ東京／(株)WOWOW／
 日本放送協会／スカパーJSAT(株)／(社)日本映画製作者連盟／松竹(株)／
 東宝(株)／東映(株)／角川映画(株)／(社)日本音楽事業者協会／
 実演家著作隣接権センター(CPRA)／
 (社)全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)／
 NPO 法人映像産業振興機構(VIPO)／
 (社)日本映画テレビプロデューサー協会

協 賛：(株)電通／(株)博報堂DYメディアパートナーズ

共 催：総務省／経済産業省

連携企画：TIFFCOM

対 象：業界関係者／一般(上映会・シンポジウム)

来場者：1,500人

■内容

●開会式典

・司会

石坂浩二、長野智子

・ゲスト

天海祐希、遠藤憲一、緒形幹太、嘉数一星、川島海荷、國村 隼、
 久米 明、佐藤隆太、戸田恵梨香、中井貴一、萩原聖人、溝端淳平、など

・海外ゲスト

リン・ヨンジェン、リー・チョンシャオ、ジョウ・ドンチー(中国)、
 アヴィカー・ゴール(インド)、イ・ジア(韓国)、
 ジャスミン・ハミッド(マレーシア)、など

●海外作品上映会

・海外作品上映会と作品関係者へのインタビュー

中国「マーウエンの戦争」

インド「Balika Vadhu ～小さな花嫁」

韓国「ベートーベン・ウィルス～愛と情熱のシンフォニー」

マレーシア「絆」

●シンポジウム「ヒットドラマの舞台裏」

◆「ROOKIES」

・出演：小出恵介(俳優)

桐谷健太(俳優)

石丸彰彦(プロデューサー)

・進行：中町綾子(日大芸術学部教授)

◆「アイシテル～海容～」

・出演：佐野史郎(俳優)

板谷由夏(女優)

次屋 尚(プロデューサー)

・進行：上滝徹也(日大芸術学部教授)

●TIFFCOMにおける国際ドラマフェスティバル・ブース

・海外作品の出演者等によるトークショー

・東京ドラマアワード受賞作品および放送各局の放送番組の紹介

オフィシャルイベント ATP Awards TV Grand Prix 2009

名 称：第26回ATP賞テレビグランプリ 2009
会 期：2009年10月22日(木)
場 所：六本木ヒルズ 六本木ハリウッドホール
主 催：(社)全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)
後 援：総務省／経済産業省／日本放送協会／(社)日本民間放送連盟
対 象：省庁／製作会社／放送事業者／関係諸団体他
来場者：500人

■内容

第26回『ATP賞テレビグランプリ2009』の受賞式が10月22日(木)に約500名の関係者を集め六本木ハリウッドホールにて盛況裏に開催されました。冒頭、総務省原正之政策統括官、今井義典 NHK 副会長、君和田正夫 民放連副会長、迫本淳一 JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行副委員長よりご挨拶を頂戴しました。

今年度のグランプリは、応募作品135本の中からドラマ部門 WOWOW 連続ドラマ W『空飛ぶタイヤ』(製作：東阪企画／放送：WOWOW) が加盟各社代表と審査員(長嶋甲平委員長：テレコムスタッフ)の投票によって選出されました。投票結果は下記の通りです。

また、特別賞には、以下の2団体、2個人が選考されました。

- ① 1995年10月の放送開始以来、人間社会の機微を描き続け、14年間の長期にわたりドキュメンタリーという枠を堅持し、2009年8月には放送500回を迎えた(株)フジテレビジョン『ザ・ノンフィクション』制作チーム。
- ② 1998年4月の放送開始以来、11年にわたり良質のドキュメンタリー番組を放送し続け、歴代プロデューサー諸氏による真摯で愛情ある姿勢は、若手制作者にとって制作意欲の高揚となり、いつかは挑戦したい目標の番組となっている(株)毎日放送「情熱大陸」制作チーム。
- ③ 「天空のロストワールド」～南米アマゾン・ギアナ高地 地球創世の記憶～ における極めてユニークで臨場感のあるレポートにより、俳優とは全く別の新たな側面を見せ、番組の流れを作った大沢たかお氏、蒼井優氏の活躍に対して。

尚、2009年度受賞作品一覧および応募作品一覧並びに審査委員講評は、ATP ホームページ(<https://www.atp.or.jp/>)にてご覧いただくことができます。

投票結果は、以下の通りです。
総投票数 100票(うち有効 97票)

ドラマ部門 59票

- ◆WOWOW 連続ドラマ W 「空飛ぶタイヤ」
東阪企画／WOWOW

ドキュメンタリー部門 17票

- ◆BS世界のドキュメンタリー シリーズ四川大地震 被災地は今
「第2回 李先生と30人の子どもたち」～紅白中心学校～
テムジン・NHK エンタープライズ／NHK BS1

情報バラエティ部門 21票

- ◆「笑劇開演 ～小林賢太郎テレビ～」
NHK エンタープライズ／NHK BS1



CoFesta 2009

オフィシャルイベント



撮影：proof



撮影：proof



撮影：proof



撮影：proof



撮影：proof

名 称：第6回 東京アジア・ミュージックマーケット
 会 期：2009年10月19日(月)～10月23日(金)
 場 所：品川プリンスホテル ステラボール 他
 共 催：経済産業省／(財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)
 協 力：(社)日本レコード協会／NPO 法人映像産業振興機構
 後 援：外務省／(社)私的録音補償金管理協会／(社)日本音楽著作権協会／
 (社)日本芸能実演家団体協議会／(社)日本音楽事業者協会／
 (社)音楽出版社協会／(社)音楽制作者連盟／
 (社)全国コンサートツアー事業者協会／日本映像振興(株)
 対 象：音楽産業関係者(コンサートのみ一般客も集客)
 来場者：3,000人

■内容

(1)商談会 @ステラボール

- プレゼンテーション 10月20日(火) 10:00～18:00
- 個別商談会 10月21日(水) 10:00～18:00
10月22日(木) 10:00～14:00
- ネットワーキング 10月20日(火)・21日(水) 20:00～22:00
10月23日(金) 20:30～22:30

海外招聘者数 49名(欧米7カ国26名/アジア5カ国23名)

日本側 プレゼンテーション参加社 22社

日本側 個別商談会ブース出展数 26社(内 高品質CD 3社)

(2)ビジネスセミナー @品川プリンスホテルメインタワー宴会場「大磯」(17F)

日程 10月23日(金) 14:00～17:00

○第1部「欧米の非メジャーレーベルの現状」

モデレーター：上出卓(ILCJ 理事)

パネリスト：アンジェラ・ビーティ (人類学博士)

デビッド・ヴォディッカ (ARIA 理事)

ヨナス・スジョストロン (SOM 会長)

○第2部「日本アーティストの欧米進出と配信の現状」

モデレーター：福光衛(ライツスケール社長)

パネリスト：アイザック・ベス (IODA シニアディレクター)

ビエール・レナウド (JaME ネットワークス CEO)

ロブ・ケルソー (Maru ミュージックマネジャー)

ガエル・ブシュアー (Wasabi レコード)

伊佐山健 (SME)

(3)アニメソングライブ @ステラボール

日程 10月23日(金) 開場 17:30 開演 18:00

出演 飛蘭、Kimeru、スフィア・戸松遥、Keno、ELISA、牧野由依、下川みくに、
生沢佑一、腐男塾 (出演順 9 枠 10 アーティスト)

(4)連携イベント「TIFFCOM 2009」

○共催セミナー @六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム

日程 10月19日(月) 11:00～12:30

「『海角七号 君思う、国境の南』・その成功に学ぶ～映画と音楽のコラボレーション」

モデレーター：関谷元子 (音楽評論家)

パネリスト：ランディ・チャン (台湾プロデューサー)

関根直樹 (EPIC レコードジャパン)

ゲスト：蔭山征彦 (『海角七号』出演者)

○TPG パーティ @六本木 A-Life

日程 10月19日(月) 13:00～14:30

作品へのマッチングを望む映画25作品のプロデューサー等が参加。日本音楽との
マッチングを期待する5作品のプロデューサーと商談実施。

※「TAM オフィシャルサイト」(<http://tamm.jp>)

RIAJ 運営海外向け音楽情報サイト「日本音楽娯楽快線」

(<http://www.jp-musicet.com>)

オフィシャルイベント Japan Fashion Week in Tokyo

名 称：第9回「東京発 日本ファッション・ウィーク」
会 期：2009年10月19日(月)～10月25日(日)
場 所：東京ミッドタウン 他
主 催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構
後 援：経済産業省／(独)中小企業基盤整備機構／(独)日本貿易振興機構／
知的財産戦略本部／外務省／文部科学省／国土交通省／東京都／
(社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／
(財)日本ファッション協会／(社)日本アパレル産業協会／
(財)ファッション産業人材育成機構／日本百貨店協会
対 象：バイヤー、プレス、その他業界関係者(一部一般消費者向け)
来場者：21,794人

■内容

「東京発 日本ファッション・ウィーク」(JFW in Tokyo)は、ファッション・ビジネスの国際競争力強化を図るため、日本の高品質・高感度な繊維素材やファッションのクリエイションを世界に向けて効果的に発信して、官民一体で東京にファッションの発信拠点を整備する取り組みです。2005年秋に始まったこの取り組みは、今回で9回目を迎えます。節目となる次回第10回での大きな効果と期待に繋げるべく、下記4つのポイントに焦点を当てて、“第2ステージ”を迎えたJFW事業に取り組みました。新人支援を含むコレクション事業を中心として、B to B事業とB to C事業がシナジー効果を発揮できるように運営し、今まで以上に一般の消費者層を取り込み、業界やメディアの注目をも高めました。○JFWの存在感UP ○「行きたくなる場」の創出 ○「売る・買う」の導線作り ○日本オリジナルの提示 の4つのポイントを具体化するために、「東京の今」を感じさせるブランドの参加によるエンターテインメント性の高いランウェイショーの実施、発信力のあるメディアの協力による“活きのいいTokyo”の発信、有力ショップとの積極的なコラボレーションによるファッション感度の高い層が集まるイベント、そして東京ミッドタウンという街との連携など、楽しくファッションナブルに展開いたしました。経済環境の厳しい中、ファッションの需要喚起にも繋がったものと考えています。

●東京コレクション・ウィーク 2010 Spring/Summer Collection

会期：2009年10月19日(月)～24日(土)
会場：東京ミッドタウン・ホール Hall A / Hall B、他会場
参加数：48メゾン・51ブランド／39ショー&インスタレーション

●JFWデザイナー合同展示会

会期：2009年10月20日(火)～22日(木)
会場：ベルサール六本木 ※「Luxe by PLUG IN」内に開催
参加数：8メゾン・ブランド

●JFWレセプション、JFW Opening Show & Party

日時：2009年10月19日(月) 19:00～23:00
会場：東京ミッドタウン キャンピ・スクエア 特設ステージ
概要：後援、協賛、協力、会員、業界関係者等、JFW事業推進にご協力を頂いている皆様を対象としたレセプションパーティーを開催。また、併せて“Tokyoらしさ”を意識したインターナショナルなモードスタイルを提案するShowと、エイベックス企画・協力による、クールでエレガントな空間を演出したDJラウンジではファッションと音楽を堪能しました。国内外のプレス・バイヤーやセレブリティ、そしてデザイナーやファッション関係者が集い、華やかに会場を彩りました。

●JFW 2010SS Weekend Party “Happy Together” meets house nation

日時：2009年10月23日(金) 19:00～22:30
会場：東京ミッドタウン キャンピ・スクエア 特設ステージ
共催：(株)シップス、(株)トゥモローランド、(株)ナノ・ユニバース、(株)ビームス、(株)フリーズインターナショナル、バイクルーズグループ、(株)ユナイテッドアローズ
概要：有力セレクトショップがJFW期間中力を合わせるプロジェクト“Happy Together”の第2弾。今回はセレクトショップ関係者・顧客や一般のファッションニスタが集まるパーティーをエイベックスのイベントhouse nationがバックアップして開催。

●東京ミッドタウンを中心に都内各所に一般参加型のイベントをその他多数開催。



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization

オフィシャルイベント

DIGITAL
CONTENT
EXPO



名称：デジタルコンテンツEXPO 2009
 会期：2009年10月22日(木)～10月25日(日)
 場所：日本科学未来館／東京国際交流館／ユナイテッド・シネマ豊洲 他
 主催：経済産業省、(財)デジタルコンテンツ協会(DCAJ)
 共催：日本科学未来館
 後援：総務省／外務省／文化庁／観光庁／東京都／江東区／東京商工会議所／
 (財)CG-ARTS協会／(財)家電製品協会／(社)電子情報技術産業協会／
 (社)コンピュータエンターテインメント協会／一般社団法人日本動画協会／
 日本バーチャリアリティ学会／超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／
 3Dコンソーシアム／立体映像産業推進協議会／日中CG文化交流協会／
 上海マルチメディア産業協会／台湾デジタルコンテンツ産業推進室／
 韓国コンテンツ振興院／3D Display Research Center

対象：業界関係者及び一般

来場者：29,751人

■内容

●次世代コンテンツ技術展(ConTEX) 2009

コンテンツを活用した新産業や新しい価値を創造していくために必要と考えられる要素技術を示した「技術戦略マップ コンテンツ分野」、この技術関連マップに関連する最先端研究、先進的な製品、それらによって広がる未来のコンテンツ技術を実演展示やセミナーを通して紹介しました。

・シンポジウム、セミナー：11セッション

シンポジウム：「現実と想像のインタラクション」「デバイス自体がコンテンツになるデバイスアート」、他

ワークショップ：「wiiリモコンで、パパと一緒にゲームを作ろう!」、他

横断プログラム：「ビジネスプラットフォームシンポジウム」

・展示：40点、4K デジタル映像祭：10 セッション

●アジアグラフ 2009 in Tokyo

アジア独自の多様な文化と、科学と芸術の融合が生み出すアジア独自の優れたデジタルコンテンツを更に発展させることを目標とした先端技術の発表や作品を展示し、世界の第一線で活躍するアジアの研究者やクリエイターを招聘し、シンポジウム・セミナー・展示を行いました。

・シンポジウム、セミナー：8セッション ペーパーセッション 5セッション

「環境と文化の方程式」、「宮本茂の仕事史」、「ファッションと音楽と映像のビッグバン」、他

・展示：12点、CGアートギャラリー作品：251作品

・第3回 ASIAGRAPH Award 贈賞式：

匠(たくみ)賞 月尾嘉男 東京大学名誉教授

創(つむぎ)賞 宮本 茂 任天堂(株)専務取締役

●国際3D Fair 2009 in Tokyo

3D(立体視)コンテンツによる新たな産業・文化の創出と豊かなライフスタイルの実現するために、国際性豊かにその可能性を展望し、シンポジウム・セミナー、3D関連製品展示、3D上映等を通して、誰もが3Dの現在と未来を、みえる、わかる、かかわれることを目標としました。

・シンポジウム、セッション：6セッション

「なるほど!3D」、「動き続ける3Dの世界」、「国際水準の3Dコンテンツ制作への挑戦」、他

・展示：21点、3Dシアター上映：6作品

・国際3D Fair 2009 アワード贈賞式：パナソニック(株)、富士フイルム(株)

●人材育成事業

人材育成セミナーでは、コンテンツ関連分野で活躍する方々を講師として招き、マーケティングや技術、海外情報等、様々なテーマを設け、コンテンツ業界を目指す学生や若手クリエイターにコンテンツ制作者としての知識や情報を提供するセミナーを開催しました。また、高校生を対象とした「映像甲子園2009」贈賞式(第24回「デジタルコンテンツグランプリ」、「デジタルクリエイターズコンペティション2009」を併催)において、優秀作品の贈賞を行いました。また一方、デジタルゲームを競技として捉える新たなスポーツである「e-sports」では、進化を続けるe-sportsを分かり易く解説し、「ゲーム大国日本がどのような将来と展望を持てるのか」なども含め、多角的にその魅力を検証しました。

●その他のプログラム

クリエイター向け実践セミナー「Animation Master Class」を横断プログラムとして企画、米国より実績のある講師を招き、2日間の充実した内容のセミナーを実施しました。

オフィシャルイベント



名 称：第36回日本賞 教育コンテンツ国際コンクール
会 期：2009年10月22日(木)～10月28日(水)
場 所：NHK放送センター
主 催：日本放送協会
対 象：世界の教育コンテンツ関係者、研究者、ユーザー
来場者：下記5. 参照

■内容

去年から、教育番組だけでなく、DVD、ウェブサイト、ゲームソフトなど、音と映像を駆使した“教育コンテンツ”が同じ土俵で競うコンクールとして再スタートを切った日本賞。今年は世界65の国と地域から、史上最多の324作品の応募作品が寄せられました。会期中はノミネート作品の制作者やゲームクリエイターなどを招いて、セッションやディスカッションを開催し、連日多くの参加者が訪れました。

最終日の授賞式には皇太子殿下のご臨席の下、吉田兄弟の演奏も交えて、華やかな雰囲気の中でグランプリ日本賞が発表され、7日間にわたるコンクールの幕が閉じられました。

日本賞はこれからも教育的効果のある、優れたコンテンツの可能性を追求していきます。

1. エントリー

324作品の応募(内容：コンテンツ部門250、シリーズ番組部門44、企画部門30、65の国と地域の計196機関、うち初参加の機関・団体91)

2. 主な受賞作品

■コンテンツ部門 グランプリ日本賞

「きみのニュースはなにに？」 TTアニメーション(TTA) (イギリス)

■シリーズ番組部門 最優秀賞：前田賞「ワンダーベッツ！」

リトル・エアプレーン・プロダクションズ (アメリカ)

■企画部門 最優秀賞：放送文化基金賞「ねえ、知ってる？」

スワジランド・テレビ (スワジランド)

3. 授賞式(10月28日 放送センター 101スタジオ)

皇太子殿下のご臨席の下、各賞の受賞者、審査委員(12か国14人)、参加者、各賞授与団体(総務副大臣、文部科学副大臣、外務副大臣)、大使館関係者など313人の出席者を迎え、津軽三味線の兄弟ユニット吉田兄弟の演奏を交えて華やかに実施した。司会は住吉美紀アナウンサー、クリス・ペプラー。

4. 各イベント

10月22日(木) 開会式、審査

10月23日(金) 審査、参加者オリエンテーション、上映会、プレゼンテーション、ディスカッション、ミート・ジ・エキスパーツ(季里、よしだあつこ、廣岡篤哉)

10月24日(土) 審査、上映会、プレゼンテーション

10月25日(日) 審査、企画部門公開プレゼン審査、上映会

10月26日(月) 審査、上映会、プレゼンテーション、シリーズ番組部門上映会&ディスカッション、ミート・ジ・エキスパーツ(佐藤隆善、水口哲也、中谷日出)

10月27日(火) 上映会、プレゼンテーション

10月28日(水) 受賞作品上映会、授賞式、祝賀レセプション

5. 参加者一覧

会期中のイベント参加者196人(日本人111人、外国人85人)

授賞式313人、祝賀レセプション355人(31か国・地域)

6. 関連番組

11月 1日(日) 21～22時 教育「第36回日本賞授賞式 輝け教育コンテンツ」

11月 2日(月) 18～20時 教育「第36回日本賞受賞作品」(青少年カテゴリー『種の起源』を実験する)だけ、ダイジェスト版を放送)

12月12日(土) 14～15時 教育「第36回日本賞受賞作品」(『種の起源』を実験する)をフルで放送)

12月26日(土) 15～18時 国際放送 NHKワールド・プレミアム「第36回日本賞受賞作品」





CoFesta2009 Partner Events

コ・フェスタ パートナーイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベントで国際性、規模等でオフィシャルイベントに準じるもので JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行本部が認めたイベントです。

第31回びあフィルムフェスティバル

テクニカルコミュニケーションシンポジウム2009(京都開催)

クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西2009(CrIS関西)

カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)

山形国際ドキュメンタリー映画祭2009

第1回むつデジタル映像フェスティバル

第4回札幌国際短編映画祭(SAPPORO ショートフェスト2009)

第8回横濱学生映画祭

全映協フォーラム2009 in 千葉

The six!

パートナーイベント



第31回びあフィルムフェスティバル

名称：第31回びあフィルムフェスティバル
会期：2009年7月17日(金)～31日(金)
場所：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール、京都、福岡、仙台、名古屋、神戸で順次開催
主催：PFFパートナーズ=びあ/TBS/IMAGICA
共催：東京国立近代美術館フィルムセンター
助成：芸術文化振興基金
後援：経済産業省/映像産業振興機構/国際交流基金/
日本映像国際振興協会/日本映画製作者連盟/日本映画監督協会
協賛：マクセル/本庄国際リサーチパーク研究推進機構/江原道
協力：早稲田大学/J-WAVE/朝日新聞社
特別協賛：ヒューマンラストグループ
対象：一般観客、映画監督を目指す方々、映画製作・配給等関係者、
映画・映像教育機関関係者
来場者：10,000人 *全国開催含めた想定数です。



■内容

●コンペティション部門「PFF アワード 2009」：応募総数 595 本から 16 作品の入選作品が選定され、映画祭期間中に 2 回上映された後、最終日の表彰式にて最終審査員によるグランプリ、準グランプリ、審査員特別賞をはじめ、パートナー企業賞、観客賞など各賞を発表。●招待企画①：世界的に再評価が高まる大島渚監督作品を黒沢清、是枝裕和、若松孝二監督の講座付きで上映。●招待企画②：巨匠に至るまでの若きクリント・イーストウッドの出演作、監督作品を中心に 17 作品を特集。●クロージング上映：第 19 回 PFF スカラシップ「川の底からこんにちは」(監督：石井裕也)
映画祭が映画製作から配給までトータルプロデュースする世界でも類をみない映画製作援助システムによって製作された同作をプレミア上映。

パートナーイベント

テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2009 (京都開催)

名称：テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2009(京都開催)
会期：2009年10月9日(金)
場所：京都テルサ
主催：一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
協力：日刊工業新聞社/日本工業新聞社/日本印刷新聞社/共立出版(株)/日経デザイン/(株)コンピュータソフトウェア協会/アジア太平洋機械翻訳協会/関西西情報・産業活性化センター テクニカルライターの会/財共用品推進機構/テクニカルコミュニケーション協会/PDF Conference 実行委員会/DITA コンソーシアムジャパン/RIA コンソーシアム
後援：経済産業省
対象：各種製品・サービスなどの取扱情報制作関係者
来場者：330人



■内容

●テーマ：「よかった!」を引き出せ・・・TCの新しい活用法
ユーザーにとって、「買ってよかった、使ってよかった」を、取扱情報の作り手にとって「伝えられてよかった」という満足度をそれぞれに構築するのがテクニカルコミュニケーション(TC)技術の使命。マニュアルコンテストの展示や下記セッションが展開された。
●パネルディスカッション
XML技術をどう使いこなすか、「よかった」を引き出す TORI-SETSU とは、サービスマニュアルの制作改善
●事例・研究発表
アメリカにおけるユーザーズマニュアルの安全標記のあり方、XMLベースの多言語ドキュメント制作の実例
●特別セッション
新しいテクニカルライティング、情報デザインの構築、初級英文ライティング

パートナーイベント



クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 (CrIS 関西)



CrIS 関西クリエイターズミーティング 2009



感性価値創造ミュージアム in KOBE



国際見本市「LIVING&DESIGN」



丹南産業フェア 2009



びわ湖大津 秋の音楽祭



Japan PopCulture Festival 2009

名 称：クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2009 (CrIS 関西)
 会 期：2009年9月5日(土)～12月4日(金)
 場 所：関西各地域(福井/滋賀/京都/大阪/兵庫/奈良/和歌山)
 主 催：クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2009 実行委員会
 内 容：今年で3年目となる「クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西(略称：CrIS 関西)」。クリエイターの発掘・育成・交流、マーケットの形成を促進することを目的として関西2府5県で20イベントを開催。
 また、今年度から新しい取り組みとして人材交流イベントを行い、秋元康氏と藤原ヒロシ氏によるトークセッションや船上イベントを実施。
 今年のテーマ：「温故知新」～「関西×歴史伝統×交流＝創造産業」～

●CrIS 関西 2009 参加イベント

名 称：感性価値創造ミュージアム in KOBE
 会 期：2009年9月5日(土)～13日(日)
 場 所：神戸市立博物館/神戸朝日ビル/旧居留地十五番館/日本真珠会館
 主 催：(独)中小企業基盤整備機構/経済産業省/兵庫県/神戸市
 来場者：13,983人

■内容

日本独自の細やかなワザと豊かな創造力が響き合う感性の祭典。ユネスコ「デザイン都市」に認定された神戸を舞台に実施。

名 称：国際見本市「LIVING&DESIGN」ーこれからの住空間要素展ー
 会 期：2009年9月16日(水)～18日(金)
 場 所：インテックス大阪
 主 催：(社)大阪国際見本市委員会
 来場者：8,449人

■内容

感性の高い住空間の新しいコンセプトに出会える国際見本市。

名 称：丹南産業フェア 2009
 会 期：2009年9月19日(土)～21日(月・祝)
 場 所：サンドーム福井
 主 催：丹南産業フェア 2009 実行委員会
 来場者：100,700人

■内容

世界で評価を受けるメイドイン丹南のクリエイティブ溢れる製品の展示を実施。

名 称：びわ湖大津 秋の音楽祭
 会 期：2009年9月19日(土)～11月1日(日)
 場 所：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 他
 主 催：(財)びわ湖ホール 他

■内容

音楽やダンスなどジャンルにとらわれない公演を行い、人材育成に貢献するとともに、大津市内で行われる様々なイベントと一体となって地域の賑わいを創出し、多様な人材交流を図る。

名 称：Japan PopCulture Festival 2009
 会 期：2009年9月26日(土)～27日(日)
 場 所：関西国際空港
 主 催：Japan PopCulture Festival 2009 実行委員会
 来場者：5,000人

■内容

アニメ、音楽、ファッションなど日本のポップカルチャーを関空に結集。海外へのPRや新しいコンテンツ&アーティスト、クリエイターの発掘などを推進し、ポップカルチャーを世界に発信。

名 称：OSAKA アート&てづくりバザール in Autumn

会 期：2009年9月26日(土)～27日(日)

場 所：ATC ホール

主 催：テレビ大阪(株)／ATC

来場者：7,717人

■内容

プロアマ問わず、「てづくり」、「アート」の発表、販売、情報交換の場。今回からビジネス来場登録を実施、新規商品を求めるビジネスニーズの橋渡しを行う。



OSAKA アート&てづくりバザール in Autumn

名 称：京都若手人材育成ラボ

会 期：2009年9月27日(日)～10月1日(木)

場 所：京都市内撮影所(東映・松竹)／京都文化博物館 など

主 催：京都府／京都文化博物館／東映京都撮影所／松竹京都撮影所 他

来場者：KYOTO Cross Media Experience 2009(KYOTO CMEX 2009) に含む

■内容

若手映像作家が国内外の一流監督・映画人の指導を受け、映画製作の現場を体験し映画関係者との交流の場を設定。



京都若手人材育成ラボ

名 称：田辺・弁慶映画祭 2009

会 期：2009年10月1日(木)～4日(日)

場 所：紀南文化会館大ホール／和歌山県立情報交流センターBig-U

主 催：田辺・弁慶映画祭実行委員会

来場者：8,037人(関連イベント含む)

■内容

アジアの若手監督の登竜門となる映画祭。映画検定1級合格者、映画関係者が審査に参加。



田辺・弁慶映画祭 2009

名 称：なら国際映画祭 プレイベント

会 期：2009年10月10日(土)

場 所：奈良県文化会館

主 催：特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会

来場者：4,000人

■内容

2010年開催の「なら国際映画祭」に向けたプレイベントを実施。



なら国際映画祭 プレイベント

名 称：第14回 アニメーション神戸 授賞式

会 期：2009年10月18日(日)

場 所：神戸国際会議場

主 催：アニメーション神戸実行委員会／神戸市／神戸デジタルコンテンツ振興会議

来場者：17,000人(関連イベント含む)

■内容

商用アニメーションの優れた作品やアニメーション界に貢献された方などに対する表彰、受賞関係者によるトークショー、一般公募によるアニメーション作品の上映・表彰などを実施。



第14回 アニメーション神戸 授賞式

名 称：ゆるキャラまつり in 彦根～キグるミさみっと 2009～

会 期：2009年10月23日(金)～25日(日)

場 所：ひこね市文化プラザ／夢京橋キャッスルロード近辺

主 催：井伊直弼と開国150年祭実行委員会・彦根商店街連盟150年祭実行委員会

来場者：72,000人

■内容

ゆるキャラの聖地彦根において、キャラクターの各地域への誘客とPRを図るとともに、関連グッズの開発や販売などにより新たなマーケットの創出につなげる。



ゆるキャラまつり in 彦根 ～キグるミさみっと 2009～

CoFesta 2009

パートナーイベント



クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 (CrIS 関西)



大阪創造取引所

名 称：大阪創造取引所 ークリエイティブビジネスフェア 2009
会 期：2009年10月27日(火)～28日(水)
場 所：堂島リバーフォーラム
主 催：近畿経済産業局／(社)関西経済連合会／CrIS関西2009実行委員会／大阪府／大阪市／大阪商工会議所

来場者：2,280人

■内容

新しい技術、アイデア、デザインが見つかる!多様な企業、大学、クリエイター、行政などが集い、クリエイティブでビジネスチャンスを広げる展示・商談イベント。



BACA-JA

名 称：BACA-JA 2009 ークリエイティブビジネスフェア 2009

会 期：2009年10月27日(火)

場 所：ABC ホール

主 催：関西テレビ放送(株)

来場者：200人

■内容

全国のメディア、芸術系の大学、専門学校の学生を対象にした日本で唯一の映像コンテスト。2009年度受賞作品の発表・上映会。



クリ博就職フェスタ 大阪 キックオフ!

名 称：クリ博就職フェスタ 大阪 キックオフ! ークリエイティブビジネスフェア 2009

会 期：2009年10月27日(火)～28日(水)

場 所：梅田スカイビル

主 催：(株)ワークスコーポレーション

来場者：2,440人

■内容

ゲーム・アニメ・映像・テレビ・広告・音楽・デザインなどクリエイティブな仕事に特化した就職博覧会。



FM802 STILL20 MINAMI WHEEL 2009

名 称：パナソニック EVOLTA & LAMDASH presents

FM802 STILL20 MINAMI WHEEL 2009

会 期：2009年10月30日(金)～11月1日(日)

場 所：大阪ミナミエリア一帯のライブハウス

主 催：FM802/MINAMI WHEEL 2009事務局

来場者：15,000人(出演者・関係者含む)

■内容

毎年大阪ミナミエリア一帯で開催される一大ショーケースライブフェスティバル。



第29回 地方の時代 映像祭 2009

名 称：第29回「地方の時代」映像祭 2009

会 期：2009年11月21日(土)～27日(金)

場 所：関西大学

主 催：吹田市／関西大学／日本放送協会／(社)日本民間放送連盟

来場者：1,700人

■内容

全国の放送局、CATV、自治体、高校生が制作したドキュメンタリー作品や報道番組アワード及び制作者や参加者によるワークショップを実施。

名 称：第5回 学生国際ショートムービー映画祭 in 関空
会 期：2009年11月28日(土)
場 所：関西国際空港
主 催：特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム
来場者：54人

■内容

学生を対象にした映画祭を行い、新しい映像コンテンツを作成する優れた人材育成に寄与する。また、本映画祭に出品している学生の発想力を活かしたCM制作のための映画祭商談会を実施。



第5回 学生国際ショートムービー映画祭 in 関空

名 称：ふくいソフトウェアコンペティション2009
会 期：2009年12月4日(金)
場 所：福井大学
主 催：(財)ふくい産業支援センター
来場者：30人

■内容

明日を担う高度な情報技術を有する人材の発掘、確保、育成を行うとともに、基礎技術の強化を図ることを目的に、コンテンツ・プログラム等の作品を公募し、その優秀性と先進性を競うソフトコンペティションを実施。



ふくいソフトウェアコンペティション 2009

名 称：KYOTO Cross Media Experience 2009(KYOTO CMEX 2009)
会 期：2009年9月26日(土)～10月4日(日)
※プレイベントは9月12日(土)から開催
会 場：京都駅・祇園エリア
祇園甲部歌舞練場／龍谷大学大宮学舎／西本願寺／京都コンピュータ学院
烏丸御池エリア
京都国際マンガミュージアム
太秦エリア
東映京都撮影所／松竹京都撮影所／東映太秦映画村 他
主 催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
対 象：国内外や京都のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す学生、一般消費者など
来場者：80,600人
※詳細は別掲オフィシャルイベント KYOTO CMEX 2009(p.18-19)



KYOTO Cross Media Experience 2009

名 称：テクニカルコミュニケーションシンポジウム2009
会 期：2009年10月9日(金)
場 所：京都テルサ
主 催：一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会
後 援：経済産業省
来場者：330人
※詳細は別掲パートナーイベント テクニカルコミュニケーションシンポジウム2009 (p.35)



テクニカルコミュニケーションシンポジウム2009

CoFesta 2009

パートナーイベント



カナダ・アニメーション・フェスティバル



名 称： カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)
会 期： 2009年9月19日(土)～10月16日(金)
場 所： 下北沢トリウッド／カナダ大使館オスカー・ピーターソンシアター／東京藝術大学 横浜校地 馬車道校舎／京都国際マンガミュージアム
主 催： カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局
共 催： カナダ国立映画制作庁／カナダ大使館／東京藝術大学大学院映像研究科 (NFBプロデューサー・ティーチインのみ共同主催)／横浜市開港150周年・創造都市事業本部(NFBプロデューサー・ティーチインのみ共催)／京都国際マンガミュージアム(CAF in 京都のみ共催)
協 力： トリウッド／コ・フェスタ2009パートナーイベント／BankART1929(NFBプロデューサー・ティーチインのみ)／CGアニカップ
支 援： 平成21年度文化庁委託事業(平成21年度海外との共同創作活動を通じた国際文化交流事業)
対 象： アニメーション業界関係者、個人・小規模制作者、映像作家、教育関係・学生、行政、一般
来場者： 1,682人

■内容

カナダにはアニメーション制作を支援する機関や仕組みが多数あり、NFB(カナダ国立映画制作庁)はその中核の一つ。インディペンデント(独立系)作家たちの自主制作活動も活発で、オスカーレースにもカナダは常連である。CAFでは、NFBのエキスパートを招き、「NFBのプロデュース力」を考えるシンポジウムで日本アニメーションの国際共同制作や作家らの国際進出を議論した。また、NFBのプロデューサーと日本の作家・監督らとの交流等を複数おこない、NFB作品の特集上映を東京と京都で開催した。

実施報告は、CAF公式サイトに掲載：<http://www.caf10.net>

パートナーイベント



山形国際ドキュメンタリー映画祭2009

YAMAGATA International Documentary Film Festival 2009
10月8日[木]～15日[木] October 8-15



名 称： 山形国際ドキュメンタリー映画祭2009
会 期： 2009年10月8日(木)～10月15日(木)
場 所： 山形市中央公民館、山形市民会館、山形フォーラム、ソラリス
主 催： 特定非営利活動法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
共 催： 山形市
後 援： (社)日本映画製作者連盟／(社)映像文化製作者連盟／(財)川喜多記念映画文化財団／(社)外国映画輸入配給協会／山形県
対 象： 一般市民、監督や製作者、配給者、評論家、映画祭関係者、研究者、大使館関係者、プレス等(以上、すべて国内外から)
来場者： 延べ 22,195人

■内容

- コンペ部門上映：インターナショナル・コンペティション部門(15作品)、アジア千波万波部門(19作品)
- 特集上映：「シマ／島—漂流する映画たち」、「映画に(反)対して—ギー・ドゥボール特集」、「明日に向かって」、「やまがたと映画」「ニュー・ドックス・ジャパン」
- その他の上映：審査員作品、特別招待作品、YIDFFネットワーク企画
- 講座／シンポジウム／イベント／インスタレーション等
- J-Pitchセミナー、ANDプレゼンツ：撮影とドキュメンタリー(講座)、「エディさんとコーヒータム」(トーク)、「いま、映画保存の裏側」(講座)、「さよならミュージ」(イベント)、「シマージア」ライブ・パフォーマンス、「女性監督たちの視線(トーク)」、「ギー・ドゥボールが作った物(講演)」、「ヤング・ジャパン(トーク)」、「まだ見ぬドキュメンタリー」(トーク)、『パッセージ・ペイザージュ(通路、風景)』(インスタレーション)、デイリー・ニュース発行
- 関連イベント
- 交流の場「香味庵」、日中映画道場、アジアハウス連続レクチャー「再生のスタンス」(5講座)

パートナーイベント



第1回むつデジタル映像フェスティバル

名称：第1回むつデジタル映像フェスティバル
会期：2009年10月10日(土)、11日(日)
場所：青森県むつ市ウェルネスパーク・克雪ドーム／むつ来さい館
主催：むつ市
共催：リサイクル燃料貯蔵(株)／東京電力(株)／日本原子力発電(株)
後援：東北経済産業局
協力イベント：宮城・仙台アニメーショングランプリ／山形国際ムービーフェスティバル
対象：一般市民
作品応募対象：東北地方の学生
来場者：1,103人

■内容

●入選作品上映 (10日・11日 10:00～16:00)

東北地方の学生より応募のあった作品の中から50作品を“入選作品”として克雪ドーム内の「特設ブース」にて上映。開催中は「市民賞」を決める“市民投票”を実施。

●特別招待作品上映 (10日・11日 10:00～16:00)

克雪ドームと別会場の「むつ来さい館」にて、東北地方での他イベントでの受賞作品や、海外からの作品など特別に招待した作品を上映。

●表彰式 (11日 12:50～14:00)

応募作品の中から審査員によって選ばれた受賞作品に対する表彰式を開催。

【授与賞】市民賞／商工会議所会頭賞／審査員長賞／各審査員賞(合計5作品)／奨励賞(2作品)／RFS特別賞／特別賞／市民賞

【特別審査員】宮下順一郎(むつ市長)／関貴(むつ商工会議所会頭)／久保誠(リサイクル燃料貯蔵(株)取締役社長)

【審査員】審査員長：稲蔭正彦(慶応義塾大学大学院教授)／沼澤順二(東北大学・大学院教授)／酒井 聡(仙台高専 助教)／パスカル・ルラン(CGアーティスト・映像ディレクター)／近藤左千子(CGアーティスト)／竹治政枝(メディアディレクター)



パートナーイベント

第4回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO ショートフェスト 2009)

名称：第4回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO ショートフェスト 2009)
会期：2009年10月14日(水)～18日(日)
場所：メイン上映会場：札幌東宝プラザ
特別上映会場：シアターキノ
マーケット会場：イベントスペース EDiT
主催：SAPPORO ショートフェスト実行委員会／札幌市
後援：札幌市内の新聞社／放送局各社／外務省／カナダ大使館／在札幌米国総領事館など
対象：一般市民、映像制作関係者、映像出版・放送関係者
来場者：11,895人(映画祭来場者：9,211人ほかワークショップ参加者などを含む)

■内容

●コンペティション上映：12プログラム／アワード・プログラム：2プログラム／特別プログラム：8プログラム／オフシアタープログラム：1プログラム／マーケット上映：5プログラム、合計約200本上映。

●5名の国際審査員がコンペティション対象作品・監督から2つのグランプリと19の各賞を選出。7作品に実行委員会と札幌市より特別賞を授与。

●審査員：5名／ゲスト：10名／フィルムメーカー：35名／応募作品制作関係者：28名／映画祭ボランティア・スタッフ：37名／スクールパートナー・ボランティア：30名

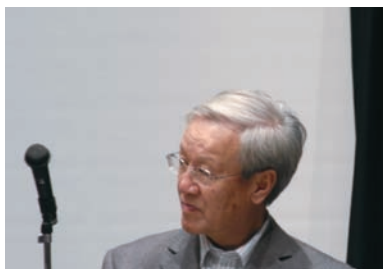
●トークイベント、映像教育フォーラム、ワークショップなどを開催。



パートナーイベント



第8回横浜学生映画祭



名 称：第8回横浜学生映画祭
 会 期：2009年10月23日(金)～25日(日)
 場 所：野毛チャーレ(横浜市中区)
 主 催：第8回横浜学生映画祭実行委員会／NPO 法人横浜アートプロジェクト
 共 催：横浜市・開港150周年創造都市事業本部
 後 援：経済産業省／外務省／中華人民共和国大使館／
 駐横浜大韓民国総領事館／(社)日本映画テレビ技術協会／
 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター／
 NHK 横浜放送局

対 象：学生、映画関係者、映像教育機関関係者、一般市民の皆さん
 来場者：517人



■内容

今年で8回目を迎えた横浜学生映画祭。若手映像作家の製作振興をはかる目的で開催し、当映画祭で培われた映像文化交流から、横浜開港150周年を記念した日中韓共同製作映画「3つの港の物語」が生まれるなど、「新しい映像市場を東アジアに生み出す」という大きな共通目標に向かって邁進してきた。今年は、中国・北京電影学院より映画監督のシェ・フェイ氏が来日、学生へのレクチャーが行われる等、和やかな雰囲気の中、密度のある交流が実現した。

- ・日中韓学生最新作品上映
- ・韓国フィルムアカデミー創立25周年記念プログラム(アニメ、ドラマ)
- ・横浜開港150周年記念プログラム
 1. 日中韓共同製作シンポジウム2009「今後の共創にむけて」
 2. 日中韓共同・横浜開港150周年記念映画「3つの港の物語」上映

パートナーイベント

全映協フォーラム 2009 in 千葉



名 称：全国地域映像団体協議会フォーラム2009 千葉大会
 会 期：2009年11月19日(木)
 場 所：幕張メッセ国際会議場
 主 催：全国地域映像団体協議会(全映協)／
 千葉映像プロダクション協同組合(千葉映協)
 後 援：総務省／経済産業省／文化庁／千葉県／千葉市／(社)千葉県観光協会／千葉商
 工会議所／(財)ちば国際コンベンションビューロー／(財)デジタルコンテンツ協会
 ／(社)日本民間放送連盟／NPO 法人ジャパンフィルムコミッション／NPO 法人地
 域文化アーカイブス／一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会／日本放
 送協会／千葉テレビ放送(株)／(株)映像新聞社／市原FM放送(株)

対 象：業界関係者及び一般
 来場者：300人



■内容

●開会式

開会挨拶	名誉会長	信井文夫 氏
	全映協会長	近藤耕司 氏
来賓挨拶	千葉県知事	森田健作 氏
	千葉市長	熊谷俊人 氏

●基調講演

題名：「千葉真一・映画にかける人生」
 時間：13:30～14:30
 講師：JJサニー千葉

●シンポジウム

題名：映像の新たなビジネスモデルとコンテンツの在り方
 時間：14:45～16:15
 出演者：新井孝雄 氏 (総務省情報通信作品振興課 課長)
 信谷和重 氏 (経済産業省文化情報関連産業課 課長)
 内山 隆 氏 (青山学院大学総合文化政策学部 教授)
 近藤耕司 氏 (全国地域映像団体協議会 会長)
 コーディネーター：清田 智 氏 (株)QPR 代表取締役)

●全映協グランプリ表彰式

パートナーイベント The six!

名称：The six!
 会期：2009年12月10日(木)～13日(日)
 場所：The Artcomplex Center of Tokyo
 主催：THE SIX運営委員会
 特別協賛：アドビシステムズ(株)
 協賛：(株)資生堂／オリンパスイメージング(株)／(株)ワールド／WSCA2010／(株)日建設計
 ／The Artcomplex Center of Tokyo／(株)中川ケミカル
 後援：チロルチョコ(株)
 参加大学：全国11美術大学の芸術祭・文化祭実行委員会（東京藝術大学／多摩美術大学／武蔵野美術大学／東京造形大学／東京工芸大学／女子美術大学／大阪芸術大学／京都市立芸術大学／京都造形芸術大学／愛知県立芸術大学／金沢美術工芸大学）とウェブコンペティション出場者の在籍校
 対象：美術学生、一般学生、一般市民、アート関係者
 来場者：2,500人

■内容

●The six!

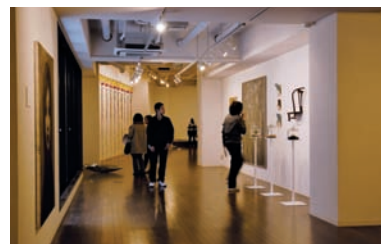
2007年にスタートした日本の美術学生の総合展覧会「THE SIX」は今年で3年目を迎え、「美術学生と社会を繋ぐより良いステージ」を目指して心機一転「The six!」へと改名。関東圏6美術大学と関西・東海地区7美術大学の芸術祭から15組、ウェブコンペティションから15組、計30組が出展しました。「つくる人」と「みる人」の双方にスポットライトを当てながら、両者の豊かな関係が始まる場として、お互いに「!」を感じあえる展覧会を目指しました。

●The six! Competition

美術を学ぶ学生を対象としたウェブコンペティションを二ヶ月に渡り開催。一般投票による一次審査と、アート業界の第一線で活躍する特別審査員20名による二次審査を経て、15組が展覧会に出展しました。

●The six! Editorial

芸術祭枠から選ばれた15組とウェブコンペティション一次審査を通過した85組、計100組の美術学生とその作品を特集した、日本の美術学生の作品集を出版しました。





CoFesta2009 Original Events

コ・フェスタ オリジナルイベントとは、各イベントが連携し相乗効果を生み出すための分野横断的イベントです。

CoFesta2009 グランドセレモニー

CoFesta 私塾 2009 ～くわだてる力～

浅草藤村忠寿大集会 ～おもしろいテレビのための在り方懇～

劇的3時間SHOW —10人のコンテンツプロフェッショナルが語る—

アジア・コンテンツ・ビジネスサミット2009

CoFestaまつり in 上野&秋葉原

オリジナルイベント CoFesta2009 グランドセレモニー

名 称：CoFesta2009 グランドセレモニー

日 時：9月29日(火) 19:00~21:00

場 所：帝国ホテル 富士の間

ナビゲーター：杏

司 会：井場尚希

出席者：800人

外国人招待者、関係省庁・自治体関係者、実行委員会、百人委員会、コンテンツ業界関係者、オフィシャル・パートナーイベント事務局、プレスなど

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

■内容

開催3年目を迎えるCoFesta2009のセレモニーとして国内外のコンテンツ業界関係者、政府関係者、クリエイター、各種メディア等が一堂に会する華やかで洗練された国際イベントです。

セレモニーはCoFesta2009イメージキャラクターである杏氏のナビゲートにより進行し、主催者を代表して大谷信義実行委員長の挨拶に始まり、続いて来賓を代表して直嶋正行経済産業大臣にご挨拶いただきました。

また、「乾杯」ではコ・フェスタメインキャラクターである役所広司氏が3D映像で登場し、会場を沸かせました。

続いて各業界のトップコンテンツの紹介映像を交え、各コンテンツ業界を代表して依田巽実行副委員長の挨拶があり、その後歓談に移り、来場者間の交流が深まりました。国内外のゲスト・メディアに向け、「すばらしい」最高度の交流会を開催いたしました。

■次第

●開会挨拶

大谷信義 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 実行委員長)

●来賓挨拶

直嶋正行 (経済産業大臣)

●CoFesta2009イメージキャラクターメッセージ 杏

●乾杯 役所広司氏が3D映像で登場

●歓談交流

●TOPコンテンツonスクリーン

●コンテンツ代表8人の登壇

依田 巽 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長／第22回東京国際映画祭 チェアマン)

松谷孝征 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長／一般社団法人 日本動画協会 名誉理事)

石坂敬一 (社)日本レコード協会 会長／ユニバーサル ミュージック合同会社 最高経営責任者兼会長)

井上伸一郎 (秋葉原エンタまつり2009 ジェネラル・プロデューサー／(株)角川書店 代表取締役社長)

野間省伸 (株)講談社 代表取締役副社長)

広瀬道貞 (社)日本民間放送連盟 会長／(株)テレビ朝日 取締役相談役)

和田洋一 (社)コンピュータエンターテインメント協会 会長／(株)スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長)

川島蓉子 (伊藤忠ファッションシステム(株) マーケティングマネジャー)

●挨拶

依田 巽 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長)

●3D映像VTR上映 (「フィリックス・ザ・キャット」、「宇宙戦艦ヤマト2」、「牙狼-GARO-」、「Fly, Baby Fly」)

●中締め挨拶

迫本淳一 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長)



オリジナルイベント CoFesta 私塾 2009 ～くわだてる力～



名 称： CoFesta私塾2009 ～くわだてる力～
 日 時： 2009年9月26日、10月3日、10月10日、10月17日、10月24日
 (全5回/全て土曜日)
 場 所： 渋谷/ロフトワーク『Ground』
 主 催： JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
 出席者： 約160人

■内容

5人の講師による5回の講義を行いました。今年のテーマは「企画力」。次々と突発的なアイデアを具現化してきた当代一の“企画者”5人を招き、その類いまれな発想と現実化する実践方法について講義をして頂きました。

CoFesta私塾とは

私塾という、やや秘密めいた名称。例を挙げるなら、松下村塾。吉田松陰の元集った若者達は、互いに切磋琢磨し、絆を深めながら、それぞれ乱世に向かって飛び出して行きました。少し大げさですが、「CoFesta私塾」の目標もそこにあります。集まった塾生が、組織や職種の枠を超えて、新しい企画を生み出すために時間を共にする。講演会のような体裁ではなく、講師⇄塾生、塾生⇄塾生といった交流が繰り広げられる密度の濃い時間を作り出します。そのため、事前に“宿題”が出たり、講義中に意見が求められることもありました。

今年は、カヤック柳澤さんと塾生による公開プレストや、松田さんへの出版企画書のプレゼンなど、他では見られないような具体的な講義となりました。

講 師： 9月26日(土) 小黒一三 (月刊「ソトコト」編集長)
 10月 3日(土) 柳澤大輔 (面白法人カヤック代表取締役)
 10月10日(土) 竹中 功 (株式会社クリエイティブエージェンシー取締役/
 吉本お笑い総合研究所副所長)
 10月17日(土) 松田行正 (グラフィックデザイナー)
 10月24日(土) 奥山清行 (工業デザイナー/Ken Okuyama Design Office代表)

オリジナルイベント 浅草藤村忠寿大集会 ～おもしろいテレビのための在り方懇～



名 称： 浅草藤村忠寿大集会 ～おもしろいテレビのための在り方懇～
 日 時： 2009年10月27日(火)
 場 所： 浅草公会堂
 主 催： JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
 来場者： 約950人

■内容

DVDの累計出荷数が200万枚を突破した、北海道テレビ放送の「水曜どうでしょう」。そのディレクター藤村忠寿が、浅草公会堂を舞台に、モノ作り、テレビ番組作りのことを熱く語った。昨年の「劇的3時間SHOW」では立ち見客続出で、断トツの入場応募数を記録。今年は、さらに大きな会場へと舞台を移し、番組で登場したキャンプをイメージしたセットや、リヤカーでの花道入場など、遊び心のある趣向も増やし、現在のテレビを取り巻く環境の中で、自身がどう番組制作に取り組んできたか、そのスタンスや経験談を披露。時に大爆笑を誘うトーク、また時にはお客にじっくり考えさせる問題提起を…と、熱くて巧みな話術とパフォーマンスで聴衆を惹きつけた。ローカル局からモノを発信していくことの価値、地元人間が番組を作る意義といった、北海道のテレビマンらしいメッセージも発信。途中からは嬉野ディレクターとのトーク形式となり、最後はカーテンコールが鳴り止まず、会場が一体になってテレビの未来を考えるという、マジメで可笑しくて熱い、秋の一夜となった。

オリジナルイベント

劇的3時間SHOW

名称：劇的3時間SHOW—10人のコンテンツプロフェッショナルが語る—

会期・場所：①2009年10月5日(月)～13日(火)

スパイラルホール(東京・青山)

②2009年10月26日(月)

アサヒ・アートスクエア(東京・浅草)

主催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

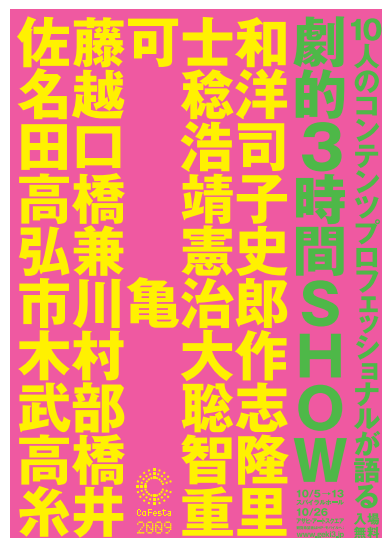
対象：コンテンツ業界を目指している人、現役のクリエイター、プロデューサー

来場者：約2,500人

■内容

日本のコンテンツ業界で大活躍するプロフェッショナルが10日間の開催期間に1日1名ずつ登場。それぞれが3時間を自由に構成し、自身の成功につながった技術や経験、コンテンツ観などを語るかつてない熱烈なライブトークショーです。憧れのクリエイターやプロデューサーのクリエイティブな感性に直接触れることで、同じ道を目指す若い人々に大いに刺激を与え、ひいては将来の日本のコンテンツ産業を支える人材の育成と交流に貢献する事を目的として実施致しました。

3年目を迎えた今年も下記の通りクリエイティビティあふれる10名のプロフェッショナルが登場。それぞれの手法で3時間を構成し、これまでの経験やものづくりへの熱い思い、哲学からビジネス論まで3時間だから深く広く語り尽くせる様々なエピソードを来場者へ熱く語って頂きました。来場者はノートにメモを取るなど真剣に話を聞き入り、質疑応答のある回では制限時間ギリギリまで質問するなど積極的に参加していました。



■出演者(出演順)



市川 亀治郎 10月5日(月)
(歌舞伎俳優)



田口 浩司 10月6日(火)
(アニメコンテンツ プロデューサー)



高橋 靖子 10月7日(水)
(スタイリスト)



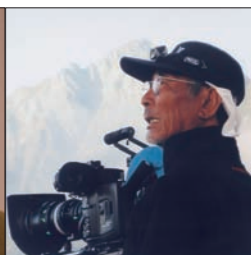
高橋 智隆 10月8日(木)
(ロボットクリエイター)



糸井 重里 10月9日(金)
(コピーライター・
「ほぼ日刊イトイ新聞」編集長)



弘兼 憲史 10月10日(土)
(漫画家)



木村 大作 10月11日(日)
(映画監督・撮影監督)



名越 稔洋 10月12日(月・祝)
(ゲームクリエイター)



武部 聡志 10月13日(火)
(音楽プロデューサー)



佐藤 可士和 10月26日(月)
(アートディレクター)

CoFesta 2009

オリジナルイベント



アジア・コンテンツ・ビジネスサミット



名 称：アジア・コンテンツ・ビジネスサミット
 日 時：10月15日(木) 9:00~18:00 / 16日(金) 10:00~17:00
 場 所：ウェスティンホテル東京
 主 催：経済産業省
 来場者：224人

■内容

「アジアのコンテンツ産業による国境を越えたコンテンツマーケット作り」を目的に、アジア各国・地域の官民代表者が一堂に会し、新たなビジネスの創造に向けて関係者の信頼関係を構築するべく、先進的な取り組みや国際協働に関し積極的な発表・議論が行われました。

アジアの多様性の中に共通項を見つけ、優れた才能の国際的な交流を促すことで、「メイド・イン・アジア」の新しい魅力を持った作品事例を多く作り出すことに関し、参加国で認識を共有しました。また、「アジア全体の競争力向上」、「国際共同製作の推進」、「人材育成・人材交流の推進」、「国際的なファンド環境の形成」等の共同行動計画も含め「アジア・コンテンツ・ビジネスサミット2009 共同宣言」が合意されました。

プログラム：

●10月15日(木)

9:00 オープニングー 開会挨拶(経済産業大臣政務官 近藤洋介)

9:10 ウェルカムスピーチ

日本産業界代表：依田 巽

経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会長／
 コ・フェスタ実行委員会 副委員長

9:30 基調講演

アジア産業界代表：ウィルフレッド・ウォン 香港映画發展局理事

10:00 セッション1ー 映画分野「国際共同製作、先端技術を駆使した映画」

日本：瀬下寛之

カシオエンターテインメント(株) 常務取締役

中国：江 平

中国電影集団 副総経理

香港：フレッド・ワン

サロンフィルム 取締役／香港国際映画祭名誉事務局長

韓国：ケイ・ヒー・ヤン・キム

マクログラフ 取締役(マーケティング・戦略担当)

日本：丸田順悟

(株)マッドハウス 代表取締役

タイ：シーラ・ヌーニョンム

タイ国家映画協会連盟 役員

16:00 セッション2ー テレビ映像分野「放送コンテンツの国際展開」

中国：程 春麗

CCTV 中国ラジオ映画テレビ番組交易センター 副総経理

日本：山中宏之

(株)NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー

シンガポール：ケネス・リャン

メディアコープ 上級副社長

日本：大野幸正

(株)フジテレビジョン 国際局 局次長

●10月16日(金)

9:30 セッション3ー 音楽、ゲーム分野「音楽、ゲーム産業の国際展開」

日本：北川直樹

音楽産業・文化振興財団 理事長

韓国：イ・サーゴウ

NHN 副社長

13:00 セッション4ー アニメ分野「国際共同製作と国際展開」

日本：布川郁司

日本動画協会 理事長／(株)ぴえろ 代表取締役

韓国：チョイ・ジョンヨル

アイコニックス・エンターテインメント CEO

タイ：ラク・テチェワンチャイ

タイアニメーション・CG協会 会長

14:45 セッション5ー 政府代表による政策プレゼンテーション、共同宣言採択
 司会、モデレーター 日本：武井俊幸

経済産業省 大臣官房審議官(IT戦略担当)

中国：黄 勇

国家広播電影電視総局 副編集長

香港：ウェリントン・フォン

映画發展局 事務局長

韓国：キム・ジョンユル

文化体育観光部 文化コンテンツ産業室 コンテンツ政策官

マレーシア：カミル・オスマン

マルチメディア開発公社 クリエイティブマルチメディア局

副局長

シンガポール：ケネス・リャン

メディアコープ 上級副社長

タイ：ルンラン・リムチュパティパ

情報通信文化省 ソフトウェア振興機構 会長

15:45 共同宣言採択

16:30 クロージング

オリジナルイベント CoFesta まつり in 上野&秋葉原

名 称：CoFestaまつり in 上野&秋葉原
日 時：2009年10月24日(土) 10:00～18:00
会 場：(上野地区) メインステージ 上野公園入口(袴腰広場)
コスプレエリア 上野公園内各所
(秋葉原地区) ベルサール秋葉原B1F
秋葉原UDX「UDXアキバ広場」
主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
後 援：東京都/台東区/上野観光連盟/NPO法人秋葉原観光推進協会
企画制作：「CoFestaまつり in 上野&秋葉原」実行委員会
協 力：秋葉原電気振興会/秋葉原駅前商店街振興組合/大江戸舞祭連合会
来場者：2,500人

■内容

日本を代表する伝統の街「上野」、JAPANコンテンツの聖地「秋葉原」この2つの特色のある地域で、子どもから大人まで参加できるイベントとして開催しました。マンガやアニメのキャラクターと一緒に歌って踊って、親子で楽しめるステージショーやコスプレイヤーが大集合するコスプレイベント、キャラクターソングをフィーチャーしたライブ、アニメソングで踊るダンス大会など日本のコンテンツの魅力が街いっぱいにあふれ出す1dayイベントとなりました。

今回のイベントは、『伝統と現代の融合』を基本コンセプトとした今年のオリジナルイベントのテーマの下に、「浅草から渋谷まで～CoFesta on SUBWAY」と表題した東京メトロ・銀座線を約1ヶ月間使用した広報展開と沿線各地での様々なイベントを結び、特に当イベントは開催地である上野と秋葉原の地域振興も視野に含まれて企画されたもので、地元各種団体の全面的な協力を得て台東区と千代田区という異なる自治体をまたがった面展開としての地元密着型のイベントとして実施されました。

【上野会場】

●上野ステージイベント

開催会場：メインステージ 上野公園入口(袴腰広場)

開催時間：開演13:00～終演16:30

出 演：千葉県我孫子市立白山中学校吹奏楽部/早稲田大学応援部吹奏楽団
AKIBA♥Sweets/ケロロ軍曹/ゲゲゲの鬼太郎&ネズミ男/ガチャピン&ムック/ハローキティ/大江戸ダンス

●上野コスプレイベント

開催会場：上野公園内各所

開催時間：参加受付開始9:30 開催10:00～17:00

【秋葉原会場】

●秋葉原ベルサールステージ

開催会場：ベルサール秋葉原B1F

開催時間：開場12:30 開演13:00～終演18:00

出 演：LeMpicka?(レンピカ)/馬原美穂/松本隆博/桜川ひめこ/宇宙戦隊NOIZ

●秋葉原UDXステージ

開催会場：UDX「UDXアキバ広場」

開催時間：開演11:00 終演15:35

出 演：LeMpicka?(レンピカ)/馬原美穂/松本隆博/アフィリア・サーガ・イースト/B.L.Tガールズプロジェクト/「日本全国各地で元気!」in 秋葉原(出演：地デジ芸人テツ&トモ、元氣娘 村井まり、地デジカ)/京商ガールズ(パラパラダンス)/Dear Stage



広報

年間スケジュール

■広報年間スケジュール概要

		国 内	海 外
4月	20日	コ・フェスタ開催概要発表及びパートナーイベント公募開始プレスリリース	
	20日	第1回イベント広報連絡会	
5月	11日	記録映像米国UTBにて放送決定プレスリリース	
	13日～24日	第1回 広報連絡会開催	第62回カンヌ国際映画祭(カンヌ) 参加
6月	2日～4日		ライセンシングインターナショナルEXPO(ラスベガス) ブース出展
	6日～12日	イベント決定プレスリリース	上海フィルム&TVマーケットチラシ委託
	11日	JAPAN EXPO 出展決定プレスリリース	
	22日	オフィシャルサイトリニューアル	
	23日	第2回実行委員会	
	26日	第2回イベント広報連絡会	
	下旬		イメージネットにて素材配信
7月	2日～5日		JAPAN EXPO(パリ) 参加 ブース出展及び記者発表会、レセプション開催
	4日	JAPAN EXPO 記者発表会開催プレスリリース	
	22日	パートナーイベント決定プレスリリース	
	22日	劇的3時間SHOW開催決定プレスリリース	
8月	13日	公式テーマ曲「Links」試聴開始プレスリリース	
	17日	CoFesta私塾塾生募集プレスリリース	
	中旬	ポスター、チラシ完成	
	24日	劇的3時間SHOW書籍化プレスリリース	
9月	1日	第3回実行委員会、概要説明会開催、百人委員会結団式	
	1日	劇的3時間SHOW観覧応募受付開始プレスリリース	
	2日	百人委員会結団式開催プレスリリース	
	15日	第3回イベント・広報連絡会開催	
	16日	公式ガイドブック(日・英) 発行	
	17日	浅草藤村忠寿大集会開催案内プレスリリース	
	18日	コ・フェスタ9/24開始プレスリリース	
	29日	グランドセレモニー開催	
	29日～10月27日	東京メトロ銀座線車両広告	
	30日	グランドセレモニー開催プレスリリース	
10月	1日	アジアコンテンツビジネスサミット開催案内プレスリリース	
	6日～10日	CEATEC JAPAN2009 ポスターギャラリー設置	
	16日	CoFestaまつりin 上野&秋葉原開催案内プレスリリース	
	20日～22日	TIFFCOM2009 ブース出展	
11月	11日	コ・フェスタ閉幕プレスリリース	
	17日	アニメフェスティバルアジア2009出展プレスリリース	
	21日～22日		アニメ フェスティバル アジア2009(シンガポール) ブース出展
	25日	第4回イベント・広報連絡会開催	

広報

制作物

■紙媒体

●ポスター

数 量：3,500枚 (B1サイズ1,500枚、B2サイズ2,000枚)

仕 様：フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁・自治体・団体、
コンテンツ産業教育機関、映画館

●チラシ

数 量：150,000枚

仕 様：A4サイズ フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁・自治体・団体、
コンテンツ産業教育機関、映画館、アニメショップ

●チラシ(Linksバージョン)

数 量：23,000枚

仕 様：A4サイズ フルカラー

配布先：久石譲氏コンサートツアー会場15ヶ所

●公式ガイドブック

言 語：日本語、英語

数 量：60,000部 (日本語40,000部、英語20,000部)

仕 様：A5サイズ 52ページ フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁・自治体・団体、
コンテンツ産業教育機関 など

■映像

●公式映像記録DVD

言 語：日本語、英語

数 量：300枚

仕 様：約15分 ショートバージョン(約5分)も制作

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁・自治体・団体 など

■ウェブサイト

●オフィシャルサイト

U R L：http://www.cofesta.jp

言 語：日本語、英語、フランス語、中国語、韓国語

●イメージネット

日本及び海外に素材を配信



広報

JAPAN EXPO



■ JAPAN EXPO

●「JAPAN EXPO」への初出展及び展開ブースについて

開催3年目を迎えた今回、統合的・日本ブランド発信イベントとしての機能をさらに拡充・強化するため、海外展開の一環として、フランス・パリで行われた日本ポップカルチャーイベント「JAPAN EXPO」に初めてブースを出展。今年で10年目を迎えた「JAPAN EXPO」は、マンガ、アニメ、ゲームを中心に、音楽、モード、書道や茶道といった日本の伝統文化を合わせた世界最大級の日本フェスティバルで、欧州内外から16万人に及ぶ日本ファンが参加するなど、日本のグローバルなコンテンツを世界に向けて発信するイベントとして、注目を集めた。

● CoFesta ブース

日 程：7月2日(木)～5日(日)

会 場：パリノール ヴィルパント展示会会場

主 催：JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会

内 容：最新のJAPANコンテンツを紹介する体感型ショーケースを展開。人気アーティストのミニステージやPV放映、楽曲の視聴コーナー、話題のアニメの映像紹介やゲームの試遊、人気マンガ家の直筆サイン&イラスト展示、コ・フェスタ2008のダイジェスト映像の上映などを実施し、最新JAPANコンテンツの情報提供とコ・フェスタの認知促進およびアンケートによる情報収集を行った。

ミニステージ：KYOTO CMEX ステージ 松島紫代

明日香 ミニライブ

『神の雫』作家 オキモト・シュウ サイン会

Vistlip トークショー

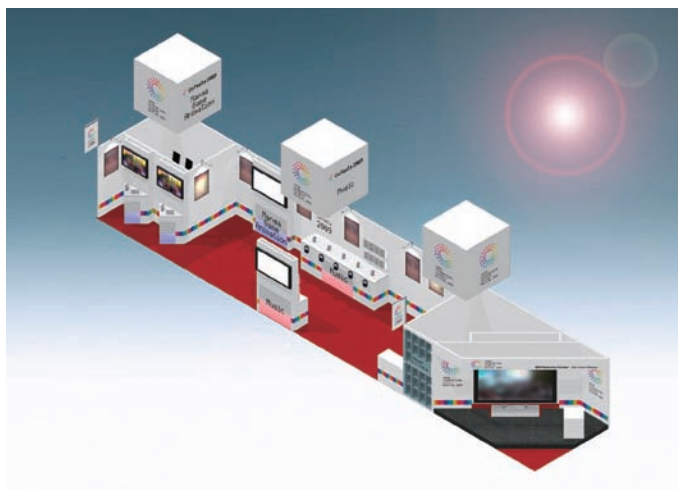
『夢色パティシエール』ステージ 青木定治

牧野由依 トークショー

Production I.G トークショー 石川みちる

(敬称略)

ブースイメージ図



●記者発表会

日 時：7月3日(金) 14:30～15:30

会 場：パリ ノール ヴィルパント展示会会場 501・502・503

主 催：JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会

登壇者：重延 浩 (CoFesta エグゼクティブ・プロデューサー)

杏 (CoFesta2009 イメージキャラクター)

青木定治 (シェフ・パティシエ、「夢色パティシエール」監修)

石川みちる (アニメーション製作会社(株)プロダクション・アイジー 取締役)

オキモト・シュウ (「神の雫」作家)

松島紫代 (女優)

分島花音 (チェロ・ヴォーカリスト)

(敬称略)

出席者数：100人

●日仏交流会

日 時：7月3日(金) 18:00～19:30

会 場：パリ日本文化会館 5F

主 催：JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会

出席者数：170人

プログラム：・司会挨拶

・主催者挨拶 重延 浩 (CoFesta エグゼクティブ・プロデューサー)

・来賓挨拶 高原寿一 (駐仏日本国臨時代理大使)

・乾杯挨拶 吉崎正弘 (経済産業省 大臣官房審議官(IT戦略担当))

・歓談・会食

・ミニトークプログラム

杏 (CoFesta2009 イメージキャラクター)

・クロージングスピーチ

石川知春 (CoFesta 実行本部長)

(敬称略)

【JAPAN EXPO 概要】

日 程：7月2日(木)～5日(日)

9:30～19:00 (初日のみ11:30～)

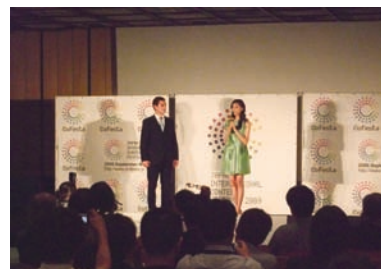
会 場：フランス パリ ノール ヴィルパント展示会会場

(PARC D'EXPOSITIONS PARIS-NORD VILLEPINTE)

主 催：S. E. F. A.

来場者数：165,000人

公式サイト URL：<http://www.japan-expo.com/art-1-fr-festival.html>



記者発表会



記者発表会



パリ日本文化会館



日仏交流会



日仏交流会

広報

イベント／ブース出展



■ CoFesta2009 概要説明会

日 時： 9月1日(火) 11:45～12:15
場 所： 東京會館 11F エメラルドルーム
内 容： CoFesta2009 概要説明
出席者数： メディア 30人



■ CEATEC JAPAN2009 ポスターギャラリー

開催日： 10月6日(火)～10日(土)
場 所： 幕張メッセ
内 容： コ・フェスタ及び各イベントポスター掲出



■ TIFFCOM2009における CoFesta ブース出展

開催日： 10月20日(火)～22日(木)
場 所： 六本木ヒルズ 森タワー 49F
内 容： ガイドブック及び各イベントチラシの配布、記録映像上映
アンケート調査の実施



広報

海外広報

■海外広報

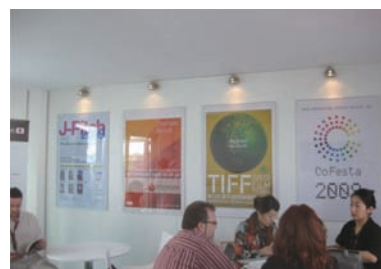
●第62回カンヌ国際映画祭ジャパンパビリオン

日 時： 5月13日(水)～24日(日)

場 所： フランス カンヌ

主 催： (財)日本映像国際振興協会(ユニジャパン)／日本貿易振興機構／
NPO 法人映像産業振興機構

活 動： 共同でパビリオン出展及びレセプション開催



●ライセンスングインターナショナルEXPO

日 時： 6月2日(火)～4日(木)

場 所： ラスベガス マンダレイベイコンベンションセンター

主 催： Advanstar Communications

活 動： ライセンスング・アジアと共同でブース出展



●Anime Festival Asia 2009

日 時： 11月21日(土)～22日(日) 10:00～21:00

場 所： シンガポール サンテック国際会議展示場(ホール403及び404)

主 催： I-Promo Events & Marketing／SOZO／Dentsu Singapore

活 動： ブース出展し、最新ジャパンコンテンツの情報提供、コ・フェスタのダイ
ジェスト映像の上映などを実施しコ・フェスタの認知促進とアンケートによ
る情報収集を行った。



広報

東京メトロ銀座線車両広告／広告出稿



■東京メトロ銀座線車両広告

日本のコンテンツの魅力に、伝統と現代の融合がある。これを象徴するのが、浅草から渋谷を結ぶ、東京メトロ銀座線である。
東京メトロの協力を得て、東京メトロ銀座線とコ・フェスタ2009のコラボレーション企画「CoFesta on SUBWAY」を実施。コ・フェスタ期間中に、銀座線沿線で様々なコ・フェスタイベントが繰り上げられる中、コ・フェスタを紹介する列車が運行した。
佐藤可士和とアートディレクターの監修。

期 間：9月29日(火)～10月27日(火)

仕 様：銀座線1編成(6車両)

数 量：中づり(3種類) 58枚／まど上(22種類) 276枚／

ドア横ステッカー(2種類) 72枚／ドア横貫通ポスター(2種類) 30枚
計 436枚

■広告出稿

雑誌名	掲載日	仕様		備考
Screen(海外)	5月13日	雑誌	4C/1P	JAPAN 特集
日経トレンドネット	7月1日～11月初旬	WEB		JAPAN EXPO 特集、バナー、メールマガジン等
CG WORLD	9月24日	雑誌	4C/2P	
ORICON BiZ	9月28日	雑誌	4C/1P	
アーバンライフ・メトロ	10月号	雑誌	4C/1P	
日経エンタテインメント!	11月号	雑誌	4C/2P	杏氏インタビュー
びあ	10月8日	雑誌	4C/1P	
WEEKLY VARIETY(海外)	10月12日	雑誌	4C/1P	
読売新聞 ファッション・ウィークガイド	10月17日	新聞	4C/1P	JFW、TIFFと連携
びあ	10月22日	雑誌	4C/1P	名越稔洋氏インタビュー

広報

メディア露出状況 (国内)

■メディア露出状況(国内)

期 間： 2009年4月1日～12月31日

件 数： 下記表参照

	テレビ	ラジオ	新 聞 (業界紙含む)	雑 誌	WEB	計
CoFesta全体 ※	6	1	58	17	171	253
オリジナルイベント	1	4	55	31	213	304
JAPAN EXPO	13	0	133	14	127	287
計	20	5	246	62	511	844

※オフィシャルイベント、パートナーイベントも含む

[主な露出媒体]

テレビ：「おはよう日本」(NHK)、「東京カワイイTV」(NHK)、「経済ワイドビジョンジョンe」(NHK)、「ズームインサタデー」(NTV)、「スッキリ!!」(NTV)、「朝ズバ!」(TBS)、「ボクらの時代」(CX)、「かんさい情報ネット ten!」(YTV)、「ニュースゆう+」(ABC) 他

ラジオ：「Diary」(TFM)、「Wonderful World」(TFM)

新 聞：「日本経済新聞」、「日経産業新聞」、「日経MJ」、「朝日新聞」、「読売新聞」、「毎日新聞」、「産経新聞」、「東京新聞」、「京都新聞」、「フジサンケイビジネスアイ」、「サンケイエクスプレス」、「日刊工業新聞」、「電波新聞」、「スポーツ報知」、「日刊スポーツ」、「サンケイスポーツ」、「デイリースポーツ」、「共同通信」 他

雑 誌：「日経エンタテインメント!」、「ORICON BiZ」、「ぴあ」、「TOKYO1週間」、「週刊アスキー」、「エコノミスト」、「フォーサイト」、「NEW MEDIA」、「リぼん」 他

W E B：「nikkei TRENDY net」、「マイコミジャーナル」、「Yahoo!」、「goo」、「livedoor」、「excite」、「Infoseek」、「ITmedia」、「Impress watch」、「アニメ!アニメ!」、「musicman-net」、「zak zak」、「マーケティングアイ」 他

業界紙：「映像新聞」、「織研新聞」、「日本繊維新聞」、「情報プレス」、「日刊興行通信」、「日刊レコード特信」、「文化通信」、「ミュージックレポート」、「連合通信」 他

広報

メディア露出状況（海外）

■メディア露出状況（海外）

期 間：2009年4月1日～12月31日

件 数：下記表参照

	テレビ	ラジオ	新 聞 (業界紙含む)	雑 誌	WEB	計
CoFesta全体 ※	0	0	7	3	134	144
オリジナルイベント	0	0	0	0	7	7
JAPAN EXPO	0	0	4	5	9	18
計	0	0	11	8	150	169

※オフィシャルイベント、パートナーイベントも含む

[主な露出媒体]

新 聞：「The Japan Times」、「La Tribune」、「Le Monde」、「THE DAILY YOMIURI」、「THE NIKKEI WEEKLY」、「The Daily NNA」

雑 誌：「France News Digest」、「METROPOLIS」

W E B：「The Japan Times ONLINE」、「Variety.com」、「Le Figaro.fr」、「Slate.fr」、「Highlighting JAPAN through articles」、「Manga-news.com」、「中漫网」

一体感の創出

分野横断的企画

いくつかのオフィシャルイベントにおいて、コ・フェスタの趣旨に即した分野横断的なセミナーやシンポジウム、ブース出展などが行われました。また、コ・フェスタに参加するイベントの統一感を創出するために、各イベントのオープニングセレモニーなどではコ・フェスタ実行委員会正副委員長の挨拶が行われました。

■オフィシャルイベントでの分野横断的企画

●東京ゲームショウ2009

「クリエイターズトークショー」

内容：日本を代表するトップクリエイターによるトークショー。昨年に引き続き、豪華出演者とともに開催。

出演：名越稔洋（㈱セガ、クリエイター代表）
日野晃博（㈱レベルファイブ、クリエイター代表）
浜村弘一（㈱エンターブレイン、ナビゲーター）
有野晋哉（よゐこ、ユーザー代表スペシャルゲスト）

会期・場所：9月27日(日) 14:10～15:10
東京ゲームショウ2009 イベントステージ

「コ・フェスタ 親子ゲームブース」

内容：親子ゲーム制作体験、なつかし＆最新ゲーム試遊コーナー、年齢別レーティング制度の紹介など、子供達とその保護者に対し、ゲームへの正しい理解とゲーム制作・クリエイターに関する興味喚起を目的に実施。

会期・場所：9月26日(土)～27日(日)
東京ゲームショウ2009 キッズコーナー内

「コ・フェスタ メインブース」

内容：ゲームソフトがエンターテインメント分野にとどまらず多様な分野で活用されている事例を紹介。企業、クリエイター、技術開発者の様々な視点を通して、ゲームの「今」と「未来」を展示。

会期・場所：9月24日(木)～27日(日)
東京ゲームショウ2009 展示ホール3

●CEATEC JAPAN 2009

「ライフコンテンツ フロンティア」

内容：コンテンツを従来のエンタテインメントの枠にとどまらない、人間の感性に作用して、安心、快適、楽しい生活と豊かな社会を実現するものととらえ、豊かで楽しい生活を実現するコンテンツ技術を紹介。リビングルームのデジタル家電を使いやすくするインターフェイスや、エンタテインメントロボットと音楽のコラボなどが紹介されました。

会期・場所：10月6日(火)～10月10日(土)
CEATEC JAPAN 2009 会場内(幕張メッセ)

「ポスターギャラリー」

内容：CEATECの展示スペースに、コ・フェスタと各オフィシャルイベントのポスターを掲出。また、パンフレットコーナーも設置し、来場者に一体感をアピール。

会期・場所：10月6日(火)～10月10日(土)
CEATEC JAPAN 2009 会場内(幕張メッセ)

●ライセンス・アジア 2009×東京コンテンツマーケット2009

「イベント同時・同場所開催」

内容：昨年まで別々に実施していたイベントが連携し、同じ会場同じ日時で開催。これにより来場者は昨年よりも増加するなどのシナジー効果があった。オープニングイベントも合同開催。

会期・場所：10月14日(水)～16日(金) 東京ビッグサイト 東1ホール



一体感の創出

分野横断的企画



●ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009×第6回文化庁映画週間 - Here & There 「アニメコンテンツによる地域ブランディング」

内容：近年、アニメコンテンツを活用した地域振興や観光促進の取り組みが盛んになってきていることを踏まえ、ヒット作「サマーウォーズ」と上田市の事例を取り上げつつアニメコンテンツの2次利用の新しいゲートとしての「地域」の可能性を探った。

登壇者：宮下義徳氏（上田市 商工観光部観光課）

伊藤卓哉氏（日本テレビ 映画事業部プロデューサー）

山村高淑氏（北海道大学 観光学高等教育センター准教授）

モデレーター：陸川和男氏（㈱キャラクター・データバンク 代表取締役）

会期・場所：10月16日(金) 秋葉原UDX

「全国マンガ・アニメ ミュージアム/マンガ関連施設 MAP」

内容：昨年も展示したマップをさらにパワーアップして展示。掲載施設の情報をまとめた冊子「全国マンガ・アニメ 観光まちおこしMAP」制作し配布した。

●TIFFCOM 2009×第6回東京アジア・ミュージックマーケット

「『海角七号 君想う、国境の南』・その成功に学ぶ～映画と音楽のコラボレーション」

内容：日本人アーティスト・中孝介をキー・ロールに抜擢して制作され、台湾映画史上最大のヒット作品となった『海角七号』。なぜ日本人キャストだったのか、なぜ中孝介だったのか、そしてなぜこの作品が台湾で記録を塗り替えるヒットを達成できたのか？必然と偶然が絡み合った記録的成功の裏側に切り込み検証した。

スピーカー：ランディ・チャン（Neutron Innovation (BVI) Ltd.CEO）

関根 直樹（EPICレコードジャパン総合企画部 開発課 課長）

モデレーター：関谷 元子（音楽評論家）

会期・場所：10月19日(月) 11:00～12:30

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

●第22回東京国際映画祭×TIFFCOM 2009

「同じ建物でTIFF期間内に開催」

内容：TIFFの来場者、関係者とTIFFCOMの出展者が交流できるよう同じ六本木ヒルズでTIFFの期間中に開催。

会期・場所：10月20日(火)～22日(木)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

●TIFFCOM 2009×オフィシャルイベント

「コ・フェスタオフィシャルイベントによるTIFFCOMへのブース出展」

内容：各オフィシャルイベントによるブース出展

出展イベント：東京コンテンツマーケット2009、ライセンシング・アジア2009、ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009、第22回東京国際映画祭、ジャパン・ロケーション・マーケット2009、第26回ATP賞テレビグランプリ2009、コ・フェスタ実行本部がTIFFCOM内でブース出展。

会期・場所：10月20日(火)～22日(木)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

●TIFFCOM 2009×国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009

「放送コンテンツ・マーケット」

内容：TIFFCOMへの特設ブース出展

会期・場所：10月20日(火)～22日(木)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

「国際ドラマフェスティバルオープニングイベント」

内容：TIFFCOMでの国際ドラマフェスティバルオープニングイベントを開催し、海外作品出演者によるトークイベントを実施。

会期・場所：10月20日(火)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

一体感の創出

分野横断的企画

●第6回文化庁映画週間 - Here & There × ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009 × ジャパン・ロケーション・マーケット2009

第7回文化庁全国フィルムコミッション・コンベンション

「アニメーション meets ロケーション 〜ヒットアニメに学ぶロケハン術!」

内容：映画やテレビなどのロケーション支援活動を通じて、地域からの情報発信を担うフィルムコミッションの活性化をテーマとするシンポジウム。

第一部：「映画『サマーウォーズ』のロケハン術」

細田 守氏 (アニメーション映画監督)

原 悟氏 (信州上田フィルムコミッション)

第二部：「映画『マイマイ新子と千年の魔法』のロケハン術」

片瀬須直氏 (アニメーション映画監督)

村田 太氏 (山口県フィルム・コミッション)

司 会：岡本美津子氏 (東京藝術大学大学院映像研究科 教授)

パネル展示：『サマーウォーズ』、『マイマイ新子と千年の魔法』のモデルとなったロケ地とアニメの背景画などをパネルで紹介。ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009の会場で企画展示も行った。

会期・場所：10月22日(木) 14:30~17:00 六本木ヒルズ森タワー「アカデミーヒルズ」



●デジタルコンテンツ EXPO 2009

「次世代コンテンツ技術展(ConTEX) 2009」

内容：コンテンツを活用した新産業や新しい価値を創造していくために必要と考えられる要素技術を示した「技術戦略マップ コンテンツ分野」、この技術関連マップに関連する最先端研究、先進的な製品、それらによって広がる未来のコンテンツ技術を実演展示やセミナーを通して紹介。

・シンポジウム、セミナー：11セッション

シンポジウム：「現実と想像のインタラクション」「デバイス自体がコンテンツになるデバイスアート」、他

ワークショップ：「wiiリモコンで、パパと一緒にゲームを作ろう!」、他

横断プログラム：「ビジネスプラットフォームシンポジウム」

・展示：40点、4K デジタル映像祭：10 セッション

会期・場所：10月22日(木)~25日(日)

日本科学未来館、東京国際交流会館、ユナイテッド・シネマ豊洲 他



●第36回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

「クロスメディア・フォーラム」

内容：教育コンテンツの質を高めることを目的とした、メディア制作者、教育関係者のための研鑽と交流の場。

会期・場所：10月23日(金)~28日(水) 日本賞会場内(NHK放送センター)



●秋葉原エンタまつり2009 × 第9回「東京発 日本ファッション・ウィーク」

「モードはマンガを模倣する」

内容：モード界が注目をするMangaの世界、JAPAN クールファッションについて取り上げた。また、同時にライブやファッションショーも開催し、CoFesta オフィシャルイベント同士の異業界コラボレーション、異色シンポジウムを実施。

【シンポジウム】中野香織氏 (明治大学 特任教授)

山室一幸氏 (㈱INFASパブリケーションズWWDジャパン編集長)

信田阿芸子氏 (日本ファッション・ウィーク推進機構 国際ディレクター)

【ファッションショー】デザイナー：MIKIKO SAKABE

モデル：@ほお〜むcafeのメイド

【ライブ】アーティスト：滴草由実

会期・場所：10月23日(金) 秋葉原UDX 2F AKIBA SQUARE



●秋葉原エンタまつり2009 × Co・Festa実行本部

「CoFestaまつり in 上野&秋葉原」

内容：秋葉原UDXにて開催されている秋葉原エンタまつり2009と連動し、イベントを共同開催。様々なシーンで活躍しているアーティストが特設ステージで熱唱するライブステージ。

出演：LeMpicka?(レンピカ)/馬原美穂/松本隆博/アフィリア・サーガ・イースト/B.L.Tガールズプロジェクト/「日本全国地デジで元気!」in 秋葉原(出演：地デジ芸人テツ&トモ、元気娘 村井まり、地デジカ)/京商ガールズ(パラパラダンス)/Dear Stage 他

会期・場所：10月24日(土) UDX「UDXアキバ広場」、ベルサール秋葉原



一体感の創出

公式行事等への CoFesta 正副委員長の出席

- 東京ゲームショウ2009 オープニングセレモニー
9月24日(木) 9:30～ 幕張メッセ
コ・フェスタ側出席者：重延副委員長
主催者側出席者：和田洋一 (社)コンピュータエンターテインメント協会会長、武井俊幸 経済産業省商務情報政策局審議官、平田保雄 (株)日経BP社代表取締役社長、鵜之澤伸 (社)コンピュータエンターテインメント協会副会長、松原健二 (社)コンピュータエンターテインメント協会副会長、北上 一三 (社)コンピュータエンターテインメント協会副会長
- 日本ゲーム大賞2009 授賞式
9月24日(木) 16:00～ 幕張メッセ
コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長、松谷副委員長
主催者側出席者：養老孟司 日本ゲーム大賞2009選考委員長、和田洋一 (社)コンピュータエンターテインメント協会会長、石黒憲彦 経済産業省商務情報政策局長
- KYOTO CMEX 2009 ネットワーキングミーティング
10月1日(木) 18:00～ 西本願寺 聞法会館
コ・フェスタ側出席者：大谷委員長
主催者側出席者：齋藤茂 KYOTO Cross Media Experience 実行委員会委員長、下妻博 クリエイティブ・インダストリー・ショウケースin 関西実行委員会委員長、武井俊幸 経済産業省商務情報政策局審議官、山田啓二 京都府知事、門川大作 京都市長、立石義雄 京都商工会議所会頭
- 東京コンテンツマーケット2009・ライセンス・アジア 2009 合同オープニングセレモニー
10月14日(水) 9:45～ 東京ビックサイト
コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長
主催者側出席者：高原一郎 経済産業省関東経済産業局長、富田雅久 ライセンス・アジア実行委員会委員長、占部浩一郎 (独)中小企業基盤整備機構理事、信谷和重 商務情報政策局 文化情報関連産業課長、ロジャー・パーマン LIMA日本支部 マネージングディレクター、岡田忠明 ライセンス・アジア実行委員会理事
- ジャパン・アニメコラボ・マーケット2009 オープニングセレモニー
10月15日(木) 9:45～ 秋葉原UDX
コ・フェスタ側出席者：大谷委員長
主催者側出席者：石黒憲彦 経済産業省商務情報政策局長、布川郁司 一般社団法人日本動画協会理事長、小島昭 東京都産業労働局観光部長、木村正 (社)日本イベント産業振興協会専務理事、浜野京 (独)日本貿易振興機構(JETRO) 海外市場開拓部長、両角孝保 JAM2009実行委員長／日本動画協会事業委員会委員長
- 第22回東京国際映画祭 オープニングセレモニー
10月17日(土) 21:30～ 六本木ヒルズ森タワー
コ・フェスタ側出席者：大谷委員長、迫本副委員長、松谷副委員長、重延副委員長
主催者側出席者：増子輝彦 経済産業副大臣、玉井日出夫 文化庁長官、石黒憲彦 経済産業省商務情報政策局長、武井俊幸 経済産業省商務情報政策局審議官、赤堀毅 外務省広報文化国際交流部文化交流課長、清木孝悦 文化庁文化部長、高井英幸 (株)日本映像国際振興協会理事長、依田巽 第22回東京国際映画祭チェアマン ほか
- 第6回文化庁映画週間 - Here & There 平成21年度(第7回) 文化庁映画賞贈呈式
10月17日(土) 19:30～ 六本木ヒルズ森タワー
コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長
主催者側出席者：玉井日出夫 文化庁長官、清木孝悦 文化庁文化部長、依田巽 第22回東京国際映画祭チェアマン
- 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2009 懇親パーティー
10月19日(月) 18:30～ 明治記念館
コ・フェスタ側出席者：大谷委員長、依田副委員長、重延副委員長
主催者側出席者：広瀬道貞 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会委員長、重村一 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会副委員長、福地茂雄 NHK会長
- 日本香港コラボレーションセミナー (第22回東京国際映画祭提携イベント) レセプション
10月22日(木) 17:00～ 六本木ヒルズ森タワー
コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長
主催者側出席者：ジャック・ソー 香港貿易発展局会長、依田巽 第22回東京国際映画祭チェアマン、フレッド・ワン 香港国際映画祭名誉事務局長、ナンソン・シー 香港映画発展局委員、キャリー・ウォン ゴールデンネットワークアジア代表取締役、ウィニー・ツァン ゴールデンシーンカンパニー代表取締役
- デジタルコンテンツEXPO2009 オープニングセレモニー&レセプション
10月22日(木) 13:00～ 日本科学未来館
コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長、依田副委員長
主催者側出席者：舘暲 DC EXPO 運営委員会委員長、増子輝彦 経済産業副大臣、中鉢良治 (株)デジタルコンテンツ協会会長、毛利衛 日本科学未来館館長、河口洋一郎 ASIAGRAPH 実行委員会委員長
- 第26回ATP賞テレビグランプリ2009
10月22日(木) 16:00～ 六本木ハリウッドホール
コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長、迫本副委員長
主催者側出席者：中尾幸男 ATP理事長、今井義典 NHK副会長、君和田雅夫 日本民間放送連盟副会長、原正之 総務省政策統括官
- 第36回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール クロージング (授賞式、交流会)
10月28日(水) 17:00～ NHK放送センター
コ・フェスタ側出席者：依田副委員長
来賓：皇太子殿下
主催者側出席者：内藤正光 総務副大臣、鈴木寛 文部科学副大臣、武正公一 外務副大臣、坂戸勝 国際交流基金理事、河竹登志夫 放送文化基金理事長、功刀純子 ユニセフ東京事務所代表、野口昇 日本ユネスコ協会連盟理事長、福地茂雄 NHK会長、大原正行 東京都教育長

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2009 実施報告書

発行日：2010年1月
発行：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
構成・印刷・製本：ホクエツ印刷(株)
デザイン監修：(株)サムライ
Printed in JAPAN
© VIPO

住所／〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8F
NPO 法人 映像産業振興機構(VIPO) 内
電話／03-3543-7321
FAX／03-3543-7322
URL／<http://www.cofesta.jp/>
Eメール／info@cofesta.jp